

分布調査報告書 (51)

2025 年 3 月

山形県

序

本県では、これまで約 5,000 か所の遺跡が確認されており、舟形町西ノ前遺跡から出土した国宝土偶「縄文の女神」をはじめとする貴重な埋蔵文化財が発見されています。これらの埋蔵文化財は、地域を形づくってきた豊かな歴史や文化を生き活きと物語る県民共有の財産であり、地域に対する誇りや愛着の醸成に欠くことのできないものです。また、地域づくりや観光振興の資源としての活用も期待されています。

道路や河川、農地の整備など、豊かで快適な県民生活を築くための開発事業が行われる場合には、開発と埋蔵文化財保護との調整を図ることが重要です。このため、開発事業に先立ち、踏査や試掘調査などの遺跡詳細分布調査を実施しています。

本報告書は、令和 5 年度に関係事業所からの事業計画聴取を経て、周知の遺跡や遺跡可能性地における 77 件の踏査・試掘調査・工事の立会・記録保存調査を行った成果をまとめたものです。調査成果が埋蔵文化財保護行政の基礎資料となり、今後の遺跡の保護や開発計画の策定に役立つとともに、県民の皆様に広く活用されることを願います。

結びになりますが、調査に御協力いただいた関係各位に、厚くお礼申し上げます。

令和 7 年 3 月

山形県知事 吉村 美栄子

例 言

- 1 本書は、令和5年度に山形県が国庫補助を受けて実施した、令和6年度以降の県農林水産部・県県土整備部事業ほか関係遺跡に係る「遺跡詳細分布調査」の報告書である。
- 2 調査と本書の作成は山形県観光文化スポーツ部県民文化芸術振興課の竹田純子、稲村圭一、岩崎恒平が担当した。
- 3 遺跡詳細分布調査では、第Ⅰ章に調査の目的と経緯を、第Ⅱ章に調査の概要一覧、試掘調査の結果、工事立会調査、記録保存調査の結果を記した。第Ⅲ章には、令和5年度に通知・届出があった遺跡の範囲等の修正と新規発見遺跡の一覧を示した。
- 4 挿図の縮尺は任意であり、各図毎にスケールを示した。遺跡地図は国土地理院発行2万5千分の1の地図を使用し、使用地図の一覧は末尾に掲載した。
- 5 挿図及び文中の記号は以下のとおりである。
Tは試掘坑もしくはトレンチを表す。図中の赤色部分は遺構・遺物が検出されたことを示し、黒色部分は遺構・遺物が未検出であることを示す。
遺跡位置図の黒枠に赤色部分は遺跡の範囲を示すものである。
なお、以下に調査でを使用した検出遺構の略記号を掲載する。
ST：竪穴建物跡 SD：溝状遺構 SK：土坑 SP：柱穴跡・ピット
- 6 遺物写真の縮尺は任意である。
- 7 調査にあたっては、事業関係機関、山形市・長井市・酒田市及びその他の市町村教育委員会、地権者各位、地元関係者の御協力をいただきました。ここに記して感謝申し上げます。

目 次

第Ⅰ章 調査の目的と経緯

1 調査の目的	1
2 調査の経緯	1
3 調査の結果	2
令和5年度県内遺跡詳細分布調査工程表	2
令和5年度県内遺跡詳細分布調査一覧	3

第Ⅱ章 調査の概要

1 令和5年度県内遺跡詳細分布調査概要	8
No.1～22(県農林事業関係遺跡)	24
No.22～26(県農林・県県土整備事業関係遺跡)	32
No.26～50(県県土整備事業関係遺跡)	33
No.50～54(県県土整備・県教育局・県企業局・県警察本部・ 山形河川国道事務所事業関係遺跡)	39
No.54～64(山形河川国道事務所事業関係遺跡)	40
No.65～68(山形河川国道事務所・酒田河川国道事務所事業関係遺跡)	43
No.68～72・73(酒田河川国道事務所・新庄河川事務所事業関係遺跡)	44
No.72・73～76(新庄河川事務所・飯豊山系砂防事務所・ 東北電力ネットワーク(株)事業関係遺跡)	45
No.77(NHK山形放送局事業関係遺跡)	46
2 試掘調査の概要	
(1)大横秋山地区遺跡可能性地1・2	47
(2)成田地区遺跡可能性地1	51
(3)当山地区(2期地区)遺跡可能性地1	54
(4)井岡地区遺跡可能性地	57
(5)唐越遺跡隣接地	61
(6)諏訪前遺跡	64
(7)北向遺跡隣接地	66
(8)太夫小屋3遺跡隣接地	69
(9)山辺工区遺跡可能性地1・2・3・4・5・8(諏訪原2遺跡)	72
(10)大谷工区遺跡可能性地4	78

(11) 成生工区遺跡可能性地3・4	81
(12) 明沢川発電所遺跡可能性地	88
(13) 松下屋敷跡、一般国道112号山形中山道路遺跡可能性地1・2	91
(14) 一般国道13号金山道路遺跡可能性地1	98
(15) 一般国道13号真室川雄勝道路遺跡可能性地1	100
(16) 一般国道113号小国道路遺跡可能性地1	102
(17) 物見峠B遺跡、林之内遺跡	105
(18) 一般国道7号遊佐象潟道路遺跡可能性地1	109
(19) 最上川直轄河川大規模災害関連事業遺跡可能性地	112

3 工事立会の概要

(1) 天王遺跡	115
----------	-----

4 記録保存調査の概要

(1) 若木館跡	122
----------	-----

第三章 遺跡の登録、修正と訂正、登録抹消

1 範囲修正、名称変更、位置訂正、登録抹消	128
2 新規登録	128
令和5年度範囲修正・名称変更・位置訂正・登録抹消・新規登録遺跡一覧	128

掲載遺跡位置図使用図幅一覧	134
報告書抄録	

第 I 章 調査の目的と経緯

1 調査の目的

令和 5（2023）年度の遺跡詳細分布調査は、令和 6 年度以降に予定される県内の開発事業計画に先行して、埋蔵文化財包蔵地及び遺跡可能性地他について踏査及び試掘調査を行い、遺跡の有無、範囲、時代、種別などの内容を明らかにすることを目的として実施した。この調査によって得られた結果は、各開発計画との調整に資され、遺跡の保護と保存のために活用されるものである。

なお、山形県で行う遺跡詳細分布調査は、以下の四つに区分している。

（1）踏査・現地確認調査（A 調査）

開発事業計画の予定地内などにおいて踏査を行い、遺跡の所在や範囲を確認する。事業計画区域と遺跡との平面的な関係を確認する調査である。

（2）試掘調査・遺跡確認調査（B 調査）

坪掘りやトレンチ掘りによる調査を行い、遺構や遺物の平面的な分布範囲や遺構確認而までの深さ等を把握して、遺跡内容の情報を収集する調査である。

（3）記録保存のための発掘調査（C 調査）

踏査や試掘調査の結果、遺跡の遺存状況が良好でない場合や、遺跡の開発事業にかかる面積が狭小な場合、あるいは事業区に接する程度等の場合に、必要に応じて実施する記録保存のための発掘調査である。

（4）工事立会調査

開発事業による遺跡への影響が軽微な場合や開発面積が狭小な場合に、工事に立ち会って実施する調査である。この調査によって遺構や遺物が発見された場合には、記録保存を行う。

2 調査の経緯

山形県では、例年 5 月に開発関係機関に今後の事業計画についての照会を行う。回答を受けて、7 月～8 月に事業内容の聴取を実施して、事業計画と埋蔵文化財包蔵地との関係について打合せを行っている。この結果に基づき必要に応じた分布調査を行い、事業との調整を図っている。その他、開発関係機関から提出された事業計画に基づく分布調査も随時行っている。

令和 5 年度の調査は、「令和 5 年度県内遺跡詳細分布調査一覧」（3 頁）に示した各遺跡の調査を、令和 5 年 4 月から令和 6 年 3 月まで「令和 5 年度県内遺跡詳細分布調査工程表」（2 頁）の工程で行うとともに、事業予定区内外における埋蔵文化財包蔵地の有無を確認するための踏査と試掘調査も併せて実施した。

なお、令和 5 年度に山形県及び市町村が新たに発見した遺跡（令和 5 年度登録遺跡）、範囲等を修正した遺跡は、第三章に示した。

調査の内容と結果については、第 II 章に表形式で概要をとりまとめ報告し、遺跡位置図と調査写真をその後に掲載した。試掘調査結果については、さらに次節で詳細を報告した。

3 調査の結果

踏査、試掘調査、工事立会調査、記録保存調査を実施した周知の遺跡と遺跡可能性地及び事業対象地区は 77 件である。事業ごとの内訳は、県農林水産部事業が 25 件、県県土整備部事業が 25 件、県教育局事業が 1 件、県企業局事業が 1 件、県警察本部事業が 1 件、山形河川国道事務所事業が 14 件、酒田河川国道事務所事業が 2 件、新庄河川事務所事業が 5 件、飯豊山系砂防事務所事業が 1 件、東北電力ネットワーク(株)事業が 1 件、NHK 山形放送局事業が 1 件である。

調査の内訳は、踏査が 52 件、試掘調査が 19 件、工事立会が 12 件、記録保存調査が 1 件である。なお、踏査と試掘調査の両方を行った事業は 2 件、踏査と工事立会の両方を行った事業は 3 件ある。

このうち、開発事業にあたって記録保存のための発掘調査が避けられない遺跡は、交通安全道路事業(交付金)(主)山形朝日線歩道設置工事に係る諏訪原 2 遺跡(山辺町)、若木土砂災害対策事業(防災安全・急傾斜)法枠、擁壁工に伴う若木館跡(山形市)の 2 件である。

令和 5 年度県内遺跡詳細分布調査工程表

事業区分		令和 5 (2023) 年										令和 6(2024) 年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
踏査・試掘調査・工事立会・記録保存調査	県農林水産部	■		■			■	■	■	■			■	■
	県県土整備部	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	県教育局							■						
	県企業局		■											
	県警察本部				■									
	山形河川国道事務所	■	■	■	■			■		■	■			
	酒田河川国道事務所								■	■				
	新庄河川事務所			■			■	■						
	飯豊山系砂防事務所				■									
	東北電力ネットワーク(株)								■	■				
	NHK 山形放送局									■				
令和 6 年度以降の埋蔵文化財包蔵地に係る開発事業計画の照会・聴取			■		■	■								
整理	出土品・記録の整理	■												
作業	報告書原稿作成							■	■	■	■	■	■	

令和5年度県内遺跡詳細分布調査一覧

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	調査区分				備考
					踏査	試掘	記録 保存	工事 立会	
県 農 林 水 産 部	1	農村地域防災減災事業 (用排水施設等整備事業)	南山形地区	谷柏古墳群 (201-020)				○	
	2	農村地域防災減災事業 (用排水施設等整備事業)	権現堂地区	森合遺跡 (207-060)	○				
	3	農村地域防災減災事業 (特定農業用管水路等 特別対策事業)	長谷川地区	白山堂遺跡 (210-145)				○	
	4	農村地域防災減災事業 (特定農業用管水路等 特別対策事業)	天童豊栄下流地区	板橋2遺跡 (210-207)				○	
	5	農地整備事業 (経営体育成型)	大槇秋山地区	遺跡可能性地1 遺跡可能性地2		○			
	6	農村地域防災減災事業 特特・石綿管	白金地区	白金遺跡 (211-083) 本郷条里制跡 (211-026)	○			○	
	7	農村地域防災減災事業 特特・石綿管	杉島地区	後久保遺跡 (208-154) 隣接	○				
	8	農地整備事業 (機構開 連)	沢原地区		○				
	9	農地整備事業 (機構開 連)	立小路エボシカ ケ地区		○				
	10	農地整備事業 (中山間 地域型)	大向上野地区	上野遺跡 (364-015)				○	
	11	農地整備事業 (経営体 育成型)	作の巻地区	作之巻遺跡 (365-007)	○				
	12	農地整備事業 (中山間地域型)	大塚北部地区	梅津館跡 (382-011) 大林遺跡 (382-080) 朽谷館跡 (382-082) 菅原館跡 (382-095) 土白館跡 (382-109) 大津賀館跡 (382-132) 根岸館跡 (382-135) 原前屋敷跡 (382-179) 八幡一遺跡 (382-194)	○				
	13	農地整備事業 (中山間地域型)	苅高山地区 (川西町苅、高山)	青木館跡 (382-017) 大坊遺跡 (382-040) 津右衛門屋敷跡 (382-058) 大坊屋敷跡 (382-064) 四谷遺跡 (382-070) 伊藤伝屋敷跡 (382-078) 畑中館跡 (382-097) 岡崎御殿跡 (382-112) 高山島貫屋敷跡 (382-155) 黒川遺跡 (382-161) 大河原屋敷跡 (382-183)	○				

1 調査の目的と経緯

事業区分	No.	事業名	地区名	道跡名 (道跡番号)	調査区分			備考
					踏査	試掘	記録保存	工事立会
県農林水産部	14	農地整備事業(経営体育成型)	漆山地区	天王道跡(213-075)				○
	15	農地整備事業(経営体育成型)	成田地区	道跡可能性地1		○		
	16	農地整備事業(経営体育成型)	草園地区	大屋敷跡(209-131) 草園館跡(209-110)	○			○
	17	農業水路等長寿命化・防災減災事業	中津川地区	白川道跡(403-027) 下屋地道跡(403-028)	○			
	18	水利施設等保全高度化事業(集積促進型)	中平田南第一地区		○			
	19	水利施設等保全高度化事業(集積促進型)	岩野地区	壺桑道跡(461-172) 大沢道跡(461-185) 東部道跡(461-203)	○			
	20	農地整備事業(中山間地域型)	上野新田地区	二反割道跡(424-102)	○			
	21	農地整備事業(経営体育成型)	当山地区(2期地区)	道跡可能性地1		○		
	22	農地整備事業(経営体育成型)	岡山地区	井岡道跡(203-010)				○
	23	農地整備事業(中山間地域型)	井岡地区	道跡可能性地		○		
	24	置賜家畜衛生保険衛生所整備	南陽市三間通	唐越道跡(213-197)隣接地	○	○		
	25	林道事業・林道開設工事	大江町沢口	沢口橋跡(324-015)	○			
県土木整備部	26	都市計画道路事業道形黄金線	鶴岡市馬場町	鶴ヶ岡城跡(203-044)				○
	27	都市計画道路事業赤湯停車場線	南陽市三間通	諏訪前道跡(213-120)		○		
	28	都市計画道路事業山元蔵増線	天童市交り江		○			
	29	交通安全道路事業(補助)(一)東山七浦線道路改良工事	楯山工区	北向道跡(201-323)隣接地		○		
	30	交通安全事業(地債)(一)日和田松川線視距改良工事	日和田工区	日和田道跡(260-003)	○			
	31	道路改築事業(補助)(国)287号道路改良工事	米沢川西バイパス工区	太夫小屋3道跡(382-034)隣接地		○		
	32	交通安全道路事業(交付金)(主)山形朝日線歩道設置工事	山辺工区	道跡可能性地1・2・3・4・5・8		○		

事業 区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	調査区分				備考
					踏査	試掘	記録 保存	工事 立会	
県 土 整 備 部	33	道路改築事業(地債) (国)345号道改良工 事	北目工区	野瀬遺跡(461-005)				○	
	34	道路改良事業(交付金) 主要地方道長井飯豊線 (小白川)道路改良工 事	小白川工区		○				
	35	交通安全事業(補助) (主)長井大江線道路 改良工事	大谷工区	遺跡可能性地4		○			
	36	道路改築事業(交付金) (主)山形天童線道路 改良工事	成生工区	遺跡可能性地3・4		○			
	37	道路改良事業(交付金) 主要地方道戸沢大蔵線 道路改良工事	古口工区	別当屋敷遺跡(367-005)	○				
	38	道路改築事業(地債) 一般県道仁田山平岡線 道路改良工事	山崎工区		○				
	39	須川河川整備補助事業 築堤工	山形市沼木～蔵 王成沢(門伝橋 ～睦合橋下流)		○				
	40	小鶴沢河川整備補助 事業	山辺町山辺		○				
	41	田沢川河川整備単独事 業(河川自然災害)護 岸工	寒河江市慈恩寺	陣ヶ峰要害跡(206-025) 隣接地	○				
	42	羽黒川河川整備補助事 業護岸工、築堤工	米沢市川井～三 沢	早坂b遺跡(202-340)	○				
	43	和田川河川整備補助事 業護岸工、築堤工	高島町夏茂～一 本柳		○				
	44	若木土砂災害対策事業 (防災安全・急傾斜) 法枠、擁壁工	山形市若木	若木館跡(201-232)	○		○		
	45	たてあと沢地域防災力 強化型土砂災害対策事 業(防災安全・通常砂 防)砂防えん堤工	鮎川村京塚	京塚館跡(366-039)	○				
	46	織機川(矢ノ沢)大規 模特定砂防等事業(通 常砂防)砂防えん堤	南陽市湊山		○				
	47	釈迦沢2土砂災害対 策事業(防災安全・通 常砂防)砂防えん堤	米沢市笹野本町	笹野山館跡(202-274)	○				

1 調査の目的と経緯

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	調査区分				備考
					踏査	試掘	記録 保存	工事 立会	
県 土 整 備 部	48	別所谷土砂災害対策事業(防災安全・通常砂防)砂防えん堤	南陽市宮内	別所A遺跡(213-057)	○				
	49	芦沢土砂災害対策事業(自然災・急傾斜)法枠工	長井市芦沢	板沢遺跡(209-060)	○				
	50	入沢地域防災力強化型土砂災害対策事業(防災安全・通常砂防)砂防えん堤工	上山市金生		○				
県 教 育 局	51	山形県立上山高等学校・山形盲学校改築整備事業	上山市宮脇		○				
県 企 業 局	52	明沢川発電所	小国町綱木箱口	遺跡可能性地		○			
県 警 本 部	53	村木沢駐在所予定地	山形市村木沢		○				
山 形 河 川 国 道 事 務 所	54	最上川上流大規模関連災害事業(左沢築堤)	(最上川)大江町左沢地先		○				
	55	最上川上流溝延地区管理用道路整備工事	(最上川)河北町溝延地先		○				
	56	最上川上流荒砥地区外河道掘削工事(荒砥地区)	(最上川)白鷹町荒砥地先		○				
	57	最上川上流荒砥地区外河道掘削工事(長井地区)	(最上川)長井市		○				
	58	最上川上流西大塚(上流・下流)地区河道掘削工事	(最上川)川西町西大塚		○				
	59	最上川上流梨郷地区河道掘削工事	(最上川)南陽市梨郷		○				
	60	最上川上流村山地区河道整正等工事	(最上川)河北町谷地		○				
	61	一般国道112号山形中山道路	山辺町山辺～中山町達磨寺	松下屋敷跡(302-015)遺跡可能性地1・2		○			
	62	一般国道13号金山道路	金山町朴山～飛森	遺跡可能性地1		○			
	63	一般国道13号真室川雄勝道路	真室川町及位～湯沢市上院内	遺跡可能性地1(町道より東側)		○			

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	調査区分				備考
					踏査	試掘	記録 保存	工事 立会	
山形河川国道事務所	64	一般国道 113 号小国道路	小国町増岡～松岡	遺跡可能性地 1 遺跡可能性地 11		○		○	
	65	一般国道 47 号高屋防災事業	戸沢村古口 (杭 No.1 ～ 124)	遺跡可能性地 1・2	○				
	66	国道 13 号津久茂橋架替	高畠町夏茂		○				
	67	国道 48 号山形 48 号交通安全対策 (山口歩道整備)	天童市山口		○				
酒田河川国道事務所	68	一般国道 7 号遊佐象潟道路	遊佐町吹浦～女鹿	物見峠 B 遺跡 (461-031) 林之内遺跡 (461-034)		○			
	69	一般国道 7 号遊佐象潟道路	遊佐町吹浦～女鹿	遺跡可能性地 1		○			
新庄河川事務所	70	最上川直轄河川大規模災害関連事業地 (最上川中流)	大石田町横山 大石田町大石田	遺跡可能性地	○	○			
	71	水上沢第 2 砂防堰堤 (寒河江川砂防)	西川町大井沢	中村館跡 (322-021)	○				
	72	小出沢第 1 砂防堰堤	庄内町肝煎	片倉遺跡 (421-023) 近接	○				
	73	小出沢第 2 砂防堰堤 (立谷沢川流域)	庄内町肝煎		○				
	74	松沢川第 2 砂防堰堤 (赤川流域)	鶴岡市松沢		○				
	75	長沢砂防堰堤 (仮称)	小国町長沢	長沢遺跡 (401-012)	○				
飯豊山系砂防事務所									
東北電力ネットワーク (株)	76	山形幹線昇圧延長工事	大蔵村清水、新庄市升形、鮎川村米		○				
NHK 山形放送局	77	NHK 山形放送局雪上車庫庫建設工事	山形市桜町	山形城三の丸跡 (201-003)	○			○	

第II章 調査の概要

1 令和5年度県内遺跡詳細分布調査概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県農林水産部	1	農村地域防災減災事業 (用排水施設等整備事業)	南山形地区	谷柏古墳群 (201-020)	山形市谷柏	集落跡	古墳時代
	2	農村地域防災減災事業 (用排水施設等整備事業)	権現堂地区	森合遺跡 (207-060)	上山市権現堂	散布地	縄文時代
	3	農村地域防災減災事業 (特定農業用管水路等特別対策事業)	長谷川地区	白山堂遺跡 (210-145)	天童市東善寺	集落跡	縄文時代
	4	農村地域防災減災事業 (特定農業用管水路等特別対策事業)	天童豊栄下流地区	板橋2遺跡 (210-207)	天童市成生	集落跡	古墳時代～中世
	5	農地整備事業 (経営体育成型)	大楸秋山地区	遺跡可能性地1 遺跡可能性地2	村山市大楸		
	6	農村地域防災減災事業 特特・石綿管	白金地区	白金遺跡 (211-083) 本郷条里跡跡 (211-026)	東根市長湊	集落跡 条里遺構	平安時代
	7	農村地域防災減災事業 特特・石綿管	杉島地区	後久保遺跡 (208-154) 隣接地	村山市河島		
	8	農地整備事業 (機構関連)	沢原地区		最上町向町		
	9	農地整備事業 (機構関連)	立小路エボシカケ地区		最上町立小路		
	10	農地整備事業 (中山間地域型)	大向上野地区	上野遺跡 (364-015)	真室川町大沢	集落跡	縄文時代

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
丘陵	田・畑	谷柏古墳群内で実施される工事に伴う道路建設に係る工事立会を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	工事立会
火山麓地形	山林	工事内容は排水路工で、森合遺跡の縁辺または外側を通る計画である。遺跡は畑等の造成で大きく改変されている。詳細設計の結果、工事が遺跡に及ぶ場合は、「慎重工事」の勧告が適当と考えられる。	無し	無し	踏査
扇状地	田・畑	白山堂遺跡隣接地における既設送水管撤去工事について工事立会を行った。掘削は耕作土の上面のみで、遺構確認面まで及ばないことを確認した。	無し	無し	工事立会
氾濫平野	田	板橋2遺跡における既設送水管撤去工事について、水田の表土除去時に工事立会を行った。立会の結果、掘削は遺構確認面より上層で留まり、遺跡への影響はなかった。	無し	無し	工事立会
台地・段丘	田	遺跡可能性地1にトレンチを4箇所、遺跡可能性地2にトレンチを5箇所設定して調査を行った結果、全てのトレンチにおいて遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘
氾濫平野	田・畑	令和5年度事業地に白金遺跡、本郷条里制跡が位置する。事業内容を現地で確認し、勧告事項について打合せを行った結果、白金遺跡の送水管・弁工事は「工事立会」、その他の工事は「慎重工事」とすることとした。白金遺跡の管工事の際に立会を行った。長さ約10m、掘削幅は上場150cm、下場100cm、掘削深は210cm程度である。遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査 工事立会
段丘、氾濫平野	田	令和5年度の事業地に遺跡は所在しないが、後久保遺跡が隣接する。令和6年度工事の対応について、引き続き調整していく。	無し	無し	踏査
低地	田	事業地は沢原川両岸にあたり、事業地全体が沢状の地形となっている。踏査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査
低地	田	事業地は鳥出川の左岸にあたり、事業地全体が沢状の地形となっている。事業地付近には中首遺跡、米入遺跡が位置するが、いずれも事業地より一段高い丘陵部にあたり、事業地まで遺跡範囲は及ばないものと判断された。踏査の結果、遺物の散布は確認されなかった。	無し	無し	踏査
台地・段丘	田	事業地は鮭川右岸の段丘上に位置する。上野遺跡内の排水路工事に立ち会った結果、掘削は地表面から120cm程度の深さで、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	工事立会

II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県農林水産部	11	農地整備事業 (経営体育成型)	作の巻地区	作之巻遺跡 (365-007)	大蔵村合海	集落跡	縄文時代
	12	農地整備事業 (中山間地域型)	大塚北部地区	梅津館跡 (382-011) 大林遺跡 (382-080) 朽谷館跡 (382-082) 菅原館跡 (382-095) 土白館跡 (382-109) 大津賀館跡 (382-132) 根岸館跡 (382-135) 原前屋敷跡 (382-179) 八幡一遺跡 (382-194)	川西町西大塚	城館跡 城館跡 城館跡 城館跡 城館跡 城館跡 集落跡	旧石器、縄文、平安 中世 奈良・平安時代、中世
	13	農地整備事業 (中山間地域型)	苅高山地区	青木館跡 (382-017) 大坊遺跡 (382-040) 津右衛門屋敷跡 (382-058) 大坊屋敷跡 (382-064) 四谷遺跡 (382-070) 伊藤伝屋敷跡 (382-078) 畑中館跡 (382-097) 岡崎御殿跡 (382-112) 高山島買屋敷跡 (382-155) 黒川遺跡 (382-161) 大河原屋敷跡 (382-183)	川西町苅高山	城館跡 城館跡 城館跡 城館跡 城館跡 城館跡 集落跡 城館跡	中世 中世 平安時代 平安時代 中世 縄文時代
	14	農地整備事業 (経営体育成型)	漆山地区	天王遺跡 (213-075)	南陽市漆山	集落跡	奈良・平安時代
	15	農地整備事業 (経営体育成型)	成田地区	遺跡可能性地 1	長井市成田		
	16	農地整備事業 (経営体育成型)	草岡地区	大屋敷跡 (209-131) 草岡館跡 (209-110)	長井市草岡	城館跡 城館跡	中世 中世

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
氾濫平野、 台地・段丘	田、畑	当事業の踏査は令和3年度に実施したが、飛び地部分の踏査が未完のため、踏査を実施した。沢前であり、遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	踏査
自然堤防、 氾濫平野	田、畑	踏査の結果、遺物の散布は確認されなかったが、梅津館跡、大津賀遺跡、根岸館跡、原前屋敷跡の遺跡範囲が事業地内に含まれることを確認した。 また、事業地北側付近の自然堤防上の範囲を「遺跡可能性地」とした。 大林遺跡、朽谷館跡、菅原館跡は事業地外のため、文化財保護法に係る事務手続きは不要である。土白館跡、八幡一遺跡については、着工前に文化財保護法第94条の通知が必要となる。「慎重工事」の勧告予定。	無し	無し	踏査
自然堤防、 氾濫平野	田、畑	事業地は、黒川と誕生川に挟まれた自然堤防及び氾濫平野上に位置する。踏査の結果、事業地内に青木館跡、大坊遺跡、津右衛門屋敷跡、大坊屋敷跡、四谷遺跡、伊藤伝屋敷跡、畑中館跡、岡崎御殿跡、高山島貫屋敷跡、黒川遺跡、大河原屋敷跡の範囲が含まれることを確認した。 また、事業地内の自然堤防上及び氾濫平野の微高地上で下記の遺跡可能性地1～13を確認した。遺跡可能性地3・4・10・12では須恵器片・土師器片等の古代の遺物の散布が確認された。遺跡範囲とその周辺及び遺跡可能性地1～13については、事業実施前に設計協議が必要となる。	無し	土師器 須恵器	踏査
自然堤防、 氾濫平野	田	面工事に先行して行われる排水路工及び管用水路工について、工事立会を行った。両工事において、ピット、土坑等の遺構を確認した。遺構から遺物の出土はなかったが、遺構は天王遺跡に伴うものと判断された。排水路工については、掘削が遺構確認面以下に及ばないため、平面図・写真等の記録にとどめた。用水路工については、掘削が遺構確認面以下に及ぶため、記録保存調査を実施した。	ピット、 土坑	無し	工事立会
扇状地	田	遺跡可能性地1の範囲内に、トレンチ6箇所を設定して調査を行った結果、全てのトレンチにおいて遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘
扇状地	田	○大屋敷跡 水路工に伴い、当初は工事立会を予定していたが、表土除去が済んだ現地を確認したところ、遺構の可能性がある土色変化は確認されなかったため、勧告事項を「慎重工事」に変更した。 ○草岡館跡 水路工が堀跡と考えられる範囲で実施されることを確認した。工事が遺跡に与える影響が軽微であることから「慎重工事」の勧告予定。現地確認の結果、遺跡登録範囲に誤りがあると考えられることから、今後改めて現地を確認し、遺跡範囲を修正する。	無し	無し	踏査 工事立会

II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県農林水産部	17	農業水路等長寿命化・防災減災事業	中津川地区	白川遺跡 (403-027) 下屋地遺跡 (403-028)	飯豊町下屋地	集落跡	縄文時代
	18	水利施設等保全高度化事業 (集積促進型)	中平田南第一地区		酒田市中野新田		
	19	水利施設等保全高度化事業 (集積促進型)	岩野地区	壺桑遺跡 (461-172) 大沢遺跡 (461-185) 東部遺跡 (461-203)	遊佐町白井新田	集落跡 集落跡 集落跡	縄文時代 縄文時代 縄文時代
	20	農地整備事業 (中山間地域型)	上野新田地区	二反割遺跡 (424-102)	鶴岡市羽黒町上野新田	集落跡	縄文時代
	21	農地整備事業 (経営体育成型)	当山地区 (2期) 地区	遺跡可能性地 1	遊佐町当山		
	22	農地整備事業 (経営体育成型)	岡山地区	井岡遺跡 (203-010)	鶴岡市岡山	遺物包蔵地	平安時代、 鎌倉時代
	23	農地整備事業 (中山間地域型)	井岡地区	遺跡可能性地	鶴岡市井岡		
	24	置賜家畜衛保険衛生所整備	南陽市三間通	唐越遺跡 (213-197) 隣接地	南陽市三間通		
	25	林道事業・林道開設工事	大江町沢口	沢口橋跡 (324-015)	大江町沢口	城館跡	中世
県国土整備部	26	都市計画道路事業道形黄金線	鶴岡市馬場町	鶴ヶ岡城跡 (203-044)	鶴岡市馬場町	城館跡	

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
段丘	宅地	用排水路工事に伴い現地を確認したところ、事業地は下屋地遺跡が位置する段丘の下を通り、白川遺跡の北側（遺跡外）を通ることを確認した。事業実施にあたり文化財保護法に係る事務手続きは不要。	無し	無し	踏査
氾濫平野	田	事業地のうち、東側の範囲の踏査を行った。遺物の散布は、近世以降の陶磁器破片のみであった。残りの範囲については、今後踏査を実施予定。	無し	無し	踏査
火山麓地形	田	踏査の結果、事業地内に菰桑遺跡、大沢遺跡、東部遺跡が存在することを確認した。遺跡範囲については、設計協議が必要となる。その他の範囲については、遺物の散布は確認されなかった。	無し	無し	踏査
台地・段丘	田	踏査の結果、事業地全体が過去の農地整備に伴い改変されている状況が確認された。遺物の散布は確認されなかった。事業地内に位置する二反割遺跡については、今後、取扱いについて調整を行う。	無し	無し	踏査
丘陵	田	遺跡可能性地1の試掘調査を実施した。トレンチを4箇所設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	試掘
氾濫平野	田	工事は、区画整理工前に排水を促すための溝掘り、水田を横断するように幹線、水田内に10～12m間隔で支線が入る。立会の結果、幹線・支線工事ともに、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	工事立会
氾濫平野	田	遺跡可能性地内に調査区を6箇所設定し、土層を確認した。調査の結果、遺構確認面までの深さは35～50cmであり、旧地形が残っていることを確認した。試掘結果をもとに、事業担当課と継続して協議を行うこととした。	無し	無し	試掘
扇状地	宅地	事業地が唐越遺跡に隣接するため試掘調査を実施した。3箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、流れ込みの遺物を除き、遺構・遺物は確認されず、事業地まで遺跡は広がらないものと判断された。	無し	土師器片	踏査 試掘
山地	山林	林道開設に伴い、遺跡部分の設計が完了したことから現地での確認及び協議を行った。現地確認の結果、事業地に城跡の遺構は確認されなかった。事業実施に際し、94通知が必要となる。「慎重工事」の勧告予定。	無し	無し	踏査
扇状地	道路用地	電線共同工にかかる工事立会を実施した。場所は、史跡旧改道館の道路を挟んだ西側及び庄内神社参道のすぐ北側の地点の2箇所である。両地点とも鶴ヶ岡城跡二の丸の堀跡の範囲に該当するが、立会の結果、過去の工事の影響により広範囲に攪乱されている状況が確認された。掘削深は1.5m程度であったが、堀底は確認されず、遺物も出土しないことから、写真等の記録をとった後、慎重に工事を進めるよう依頼した。	堀跡	無し	工事立会

II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県 土 整 備 部	27	都市計画道路事業赤湯停車場線	南陽市三間通	諏訪前遺跡 (213-120)	南陽市三間通	散布地、集落跡	縄文時代(中期)、古墳時代(前期)、平安時代
	28	都市計画道路事業山元蔵増線	天童市交り江		天童市交り江		
	29	交通安全道路事業(補助)(一)東山七浦線道路改良工事	楯山工区	北向遺跡 (201-323) 隣接地	山形市青柳		
	30	交通安全事業(地債)(一)日和田松川線視距改良工事	日和田工区	日和田遺跡 (260-003)	寒河江市日和田	遺物包蔵地	縄文時代
	31	道路改築事業(補助)(国)287号道路改良工事	米沢川西バイパス工区	太夫小屋3遺跡 (382-034) 隣接地	川西町時田		
	32	交通安全道路事業(交付金)(主)山形朝日線歩道設置工事	山辺工区	遺跡可能性地 1・2・3・4・5・8	山辺町山辺		
	33	道路改築事業(地債)(国)345号道改良工事	北目工区	野瀬遺跡 (461-005)	遊佐町北目	散布地	平安時代
	34	道路改良事業(交付金)主要地方道長井飯豊線(小白川)道路改良工事	小白川工区		飯豊町小白川		
	35	交通安全事業(補助)(主)長井大江線道路改良工事	大谷工区	遺跡可能性地 4	朝日町大谷		
	36	道路改築事業(交付金)(主)山形天童線道路改良工事	成生工区	遺跡可能性地 3・4	天童市成生 東根市羽入		

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
扇状地	宅地	事業地は、南陽市を南流する吉野川右岸の扇状地上に位置する。事業地内にトレンチ1箇所を設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘
氾濫平野	宅地	事業内容は現道の両側拡幅である。現地は住宅・店舗等が並び、わずかに畑地がある。事業地東側が西側よりも旧地形が高いと考えられる。踏査の結果、遺物の散布は確認されなかった。畑地を遺跡可能性地とし、試掘調査結果を受けて、今後の対応を検討する。	無し	無し	踏査
扇状地	宅地	事業地内にトレンチ2箇所を設定して調査を行った結果、流れ込みによる遺物を除き、遺構・遺物は確認されなかった。今回の試掘範囲まで遺跡は広がらないものと判断された。	無し	土師器片	試掘
段丘	宅地	現地確認及び寒河江市教委への聞き取りの結果、事業地は遺跡外又は遺跡の端にあたり、事業が遺跡に与える影響は軽微と判断されたが、その後、事業課より地元の同意が得られず、事業化されない旨の連絡があった。	無し	無し	踏査
扇状地、氾濫平野	田	事業地内にトレンチ5箇所を設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。砂層や粘土層などが堆積する低地の様相が確認され、当地に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	試掘
台地・段丘	果樹、畑	遺跡可能性地1・2・3・4・5・8の試掘調査を実施した。調査の結果、遺跡可能性地1・2・3・5・8において中世の遺構を検出した。遺構が確認された範囲を「諏訪原2遺跡」として登録し、令和6年度に記録保存調査を実施予定。	柱穴、土坑、溝状遺構	陶磁器	試掘
氾濫平野	田	ボックスカルバート設置及び側溝入れ替え工事への立会を行った。立会の結果、地山(遺構確認面)が削平されている様子が確認された。一部で上部が削平された遺構と考えられる土色変化を土層断面で確認した。付近から土師器片・須恵器片が出土した。	無し	須恵器片 土師器片	工事立会
段丘	宅地	事業地は白川左岸の段丘上である。遺物の散布は確認されなかったが、遺跡可能性地を確認した。遺跡可能性地については、今後、試掘調査を実施予定。	無し	無し	踏査
台地・段丘	田	事業地内にトレンチ2箇所を設定して調査を行った結果、トレンチ1において縄文時代の遺物包含層を確認した。可能性地4の未調査部分については、令和6年度に継続して試掘調査を実施予定。	遺物包含層	縄文土器	試掘
扇状地	果樹	遺跡可能性地3に4箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。遺跡可能性地4に4箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、全てのトレンチにおいて遺構や遺物包含層を確認した。西側に所在する「東原遺跡」が当地まで続いているものと考えられる。遺跡可能性地3・4ともに、試掘調査未実施範囲については、引き続き試掘調査を実施する。	土坑 ピット	須恵器片 土師器片	試掘

II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	道跡名 (道跡番号)	所在地	道跡種別	時期
県土整備部	37	道路改良事業(交付金) 主要地方道戸沢大蔵線 道路改良工事	古口工区	別当屋敷道跡(367-005)	戸沢村古口		
	38	道路改築事業(地債)一 般県道仁田山平岡線 道路改良工事	山崎工区		金山町山崎		
	39	須川河川整備補助事業 築堤工	山形市沼本～ 蔵王成沢 (門伝橋～睦 合橋下流)		山形市沼本～ 蔵王成沢		
	40	小鶴沢河川整備補助 事業	山辺町山辺		山辺町大寺		
	41	田沢河川整備単独事 業(河川自然災害)護岸 工	寒河江市慈恩 寺	陣ヶ峰要害跡(206-025)隣接地	寒河江市慈恩 寺	城館跡	中世
	42	羽黒河川整備補助事 業護岸工、築堤工	米沢市川井～ 三沢	早坂山b道跡(202-340)	米沢市万世町	集落跡、 城館跡	縄文時代、 中世
	43	和田河川整備補助事 業護岸工、築堤工	高島町大字夏 茂～一本柳	道南道跡(381-074)隣 接 遠塚道跡(381-080) 寝鹿道跡(381-085)隣 接	高島町夏茂	散布地	縄文時代、 平安時代
	44	若木土砂災害対策事業(防 災安全・急傾斜)法枠、 擁壁工		若木館跡(201-232)	山形市若木	城館跡	
	45	たてあと沢地域防災力 強化型土砂災害対策事 業(防災安全・通常砂 防)砂防えん堤工		京塚館跡(366-039)	鮭川村京塚	城館跡	
	46	織機川(矢ノ沢)大規模 特定砂防等事業(通常 砂防)砂防えん堤			南陽市漆山		
	47	釈迦沢2土砂災害対策 事業(防災安全・通常 砂防)砂防えん堤		笹野山館跡(202-274)	米沢市笹野本 町	城館跡	中世

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
山地	田・畑	遺跡とその周辺は、削平・改変されていると考えられ、今後の試掘調査は不要と判断した。「慎重工事」の勧告予定。	無し	無し	踏査
段丘	田	事業は金山川左岸の仁田山平岡線を新庄金山道路金山南ICから国道13号線まで拡幅するものあり、踏査の結果、遺物の散布は確認されなかった。	無し	無し	踏査
丘陵	河川	須川河川整備事業に係る踏査を実施した。今回実施した範囲は前明石橋～門伝橋の間で、須川北岸について行った。踏査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査
扇状地	田	事業内容は、現河川の拡幅を行うもの。踏査の結果、事業区一帯は土地分類である低地に位置し、遺構・遺物は確認されなかった。「馬頭観音」跡地については、工事立会の協力を依頼する。	無し	無し	踏査
丘陵	河川	陣ヶ峰要害跡付近での事業であることから事業地を確認した。事業地は遺跡外と判断され、文化財保護法に係る事務手続きは不要である。	無し	無し	踏査
氾濫平野	河川	令和6・7年度事業地の踏査を実施した。踏査の結果、事業地はすでに盛土等されており旧地形の確認はできなかったが、河川内または氾濫原に位置しており、事業地に遺跡は所在しないと判断された。	無し	無し	踏査
自然堤防、氾濫平野	田、畑、宅地	津久茂橋からJR奥羽本線線路までの踏査を行った。地形的には自然堤防は少なく、大部分が氾濫平野である。遺物の散布は確認されなかったが、当地が中世からの交通の要衝であることを踏まえ、中瀬館跡に近い中瀬橋への取付道路部分を「遺跡可能性地1」とする。JR奥羽本線から東側については、引き続き踏査を行う。	無し	無し	踏査
山地	畑	若木館跡内の土地利用者が作業道造成のために、遺跡内の平場等を重機で掘削したことが明らかとなった。当事業に起因する行動と判断し、掘削された平場2箇所について記録保存調査を行った。	曲輪	無し	踏査 記録保存
山地	山林	管理用道路建設に係り、事業課とともに遺構（堅堀等）を切土しないよう遺構の位置に印（ピンボール）を立て、管理用道路の線形を見直す作業を実施した。管理用道路工事は令和7年度以降に行われる予定であり、見直し後の設計を当課が確認することとした。	堅堀	無し	踏査
山地	山林	事業内容は砂防えん堤と工事用道路の建設、市道の付替えである。事業地は全て沢の中であり、遺跡が所在すると思われる地形はなかった。	無し	無し	踏査
山地	山林	事業が笹野山館跡内で実施されることから、工事箇所と遺構の位置関係を確認した。えん堤・工事用道路共に、曲輪・堅堀・掘切などの遺構にはかからないことを確認した。事業実施にあたり、文化財保護法第94条通知が必要となる。「慎重工事」の勧告とする。	無し	無し	踏査

II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	道跡名 (道跡番号)	所在地	道跡種別	時期
県土整備部	48	別所谷土砂災害対策事業(防災安全・通常砂防)砂防えん堤		別所 A 道跡 (213-057)	南陽市宮内	散布地	平安時代
	49	芦沢土砂災害対策事業(自然災・急傾斜)法枠工		桜沢道跡 (209-060)	長井市芦沢	遺物包蔵地	縄文時代
	50	入沢地域防災力強化型土砂災害対策事業(防災安全・通常砂防)砂防えん堤工			上山市金生		
県教育局	51	山形県立上山高等養護学校・山形盲学校改築整備事業			上山市宮脇		
県企業局	52	明沢川発電所	小国町綱木箱口	道跡可能性地	小国町綱木箱口		
県警本部	53	村木沢駐在所予定地			山形市村木沢		
山形河川国道事務所	54	最上川上流大規模関連災害事業(左沢築堤)	(最上川)大江町左沢地先		大江町左沢		
	55	最上川上流満延地区管理用道路整備工事	(最上川)河北町満延地先		河北町満延		
	56	最上川上流荒砥地区外河道掘削工事(荒砥地区)	(最上川)白鷹町荒砥地先		白鷹町荒砥		
	57	最上川上流荒砥地区外河道掘削工事(長井地区)	(最上川)長井市		長井市小出		
	58	最上川上流西大塚(上流・下流)地区河道掘削工事	(最上川)川西町西大塚		川西町西大塚		

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
山地	山林	工事用道路がかかる別所 A 遺跡は、切土されるために試掘調査が必要となる。路側帯予定地が、南向きの緩斜面の畑であることから、遺跡外ではあるが「遺跡可能性地」として試掘調査を実施予定。	無し	無し	踏査
山地、氾濫平野	宅地、山林	事業地に桜沢遺跡が含まれるため、現地を確認した。遺跡登録した長井市によれば、個人住宅増築の際に地下約 1.5 m から縄文時代の遺物が出土したもの。今回の事業地は住宅地背後の山斜面であり、工事が遺跡に与える影響は軽微と考えられることから、「慎重工事」の勧告が適当と考えられた。	無し	無し	踏査
山地	山林・墓地	事業地は、金生共同墓地南側の沢筋である。踏査の結果、遺物の散布は確認されず、地形的にも遺跡は所在しないと判断された。	無し	無し	踏査
低地	宅地	現地確認の結果、学校敷地は東側山地から流入する須川の扇状地形の一角に位置し、須川との比高差も大差ないため、遺跡が存在する可能性は極めて低いと判断された。	無し	無し	踏査
河岸段丘	山林	遺跡可能性地内にトレンチ 7 箇所を設定して調査を行った結果、全てのトレンチにおいて遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	試掘
扇状地	田	事業予定地を確認したところ、南側に所在する金沢遺跡が続いている可能性があり、試掘調査が必要と判断された。	無し	無し	踏査
河岸段丘	宅地	国・町と地元との間で設計に係る調整が未完であるが、今後の分布調査の方法・考え方を整理するために、町教委と打合せ・現地確認を行った。事業地は、近世に繁栄した最上川舟運に係る土地であり、その遺構は調整の対象とする。また、「重文景の重要な構成要素」（近現代）は、取扱いの「地域において特に必要と認められるもの」にあたり、調整の対象となる。	無し	無し	踏査
河岸段丘	畑、農道	管理用道路建設に伴って踏査を行った結果、遺物の散布は確認されなかった。事業実施にあたり問題なし。	無し	無し	踏査
水部	河川	事業地は低水敷であり、事業実施にあたり地形的に問題ないことを確認した。	無し	無し	踏査
水部	河川	事業地は河川内であり、事業実施にあたり問題ないことを確認した。	無し	無し	踏査
水部	河川	事業地は低水敷であり、事業実施にあたり問題ないことを確認した。	無し	無し	踏査

II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
山形河川国道事務所	59	最上川上流梨郷地区 河道掘削工事	(最上川) 南陽市梨郷		南陽市梨郷		
	60	最上川上流村山地区 河道整正等工事	(最上川) 河北町谷地		河北町谷地		
	61	一般国道 112 号山形中 山道路	山辺町山辺～ 中山町達磨寺	松下屋敷跡 (302-015) 遺跡可能性地 1・2	中山町達磨寺 山辺町山辺	城館跡	中世
	62	一般国道 13 号金山道 路	金山町朴山～ 飛森	遺跡可能性地 1	金山町朴山		
	63	一般国道 13 号真室川 雄勝道路	真室川町及位 ～湯沢市上院 内	遺跡可能性地 1 (町道より東側)	真室川町及位		
	64	一般国道 113 号小国道 路	小国町増岡～ 松岡	遺跡可能性地 1 遺跡可能性地 11	小国町増岡 小国町小国町		
	65	一般国道 47 号高屋防 災事業	戸沢村古口 (杭 No.1 ～ 124)	遺跡可能性地 1 遺跡可能性地 2			
	66	国道 13 号津久茂橋架 替	高畠町夏茂		高畠町夏茂		
酒田河川国道事務所	67	国道 48 号山形 48 号交 通安全対策 (山口歩道 整備)	天童市山口		天童市山口		
	68	一般国道 7 号遊佐象潟 道路	遊佐町吹浦～ 女鹿	物見峠 B 遺跡 (461- 031) 林之内遺跡 (461-034)	遊佐町吹浦	散布地 散布地	縄文時代、 平安時代 縄文時代、 鎌倉時代
	69	一般国道 7 号遊佐象潟 道路	遊佐町吹浦～ 女鹿	遺跡可能性地 1	遊佐町吹浦		

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
水部	河川	事業地は低水敷であり、事業実施にあたり問題ないことを確認した。	無し	無し	踏査
水部	河川	事業地は河川内であり、事業実施にあたり問題ないことを確認した。	無し	無し	踏査
氾濫平野、 自然堤防	田	松下屋敷跡及び隣接地内に5箇所、遺跡可能性地1に3箇所、遺跡可能性地2に5箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、全てのトレンチにおいて遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘
氾濫平野	山林	令和3年度に続き、遺跡可能性地1の範囲にトレンチ3箇所を設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘
河岸段丘	山林・雑 種地	遺跡可能性地1内にトレンチ2箇所を設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。試掘調査未実施範囲が残るが、これまでの調査結果を受けて、これ以上の試掘調査は不要と判断した。	無し	無し	試掘
氾濫平野、 山地	田、山林	遺跡可能性地1に3箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。山形河川国道事務所より、工事用道路用地について遺跡の可能性の有無について照会があり、平林V遺跡に近い段斜面の用地については「遺跡可能性地11」とした。工事用道路の着工が迫り試掘調査ができないことから、掘削工事に立会った。調査の遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘 工事立会
山地	山林	杭No.124～221付近(終点)までと、工事用道路部分についての踏査を行った。遺物の散布は確認されなかったが、本線部分「遺跡可能性地1」に取りつく平場部分を「遺跡可能性地3」とする。また、本線部分「遺跡可能性地2」に取りつく緩い斜面を「遺跡可能性地4」とし、今後、試掘調査を実施予定。	無し	無し	踏査
自然堤防、 氾濫平野	宅地	津久茂地区は中世から集落として機能していた可能性があり、津久茂橋南側の旧地形は自然堤防、北側は氾濫平野である。津久茂橋南側事業地については、試掘調査を実施する必要がある。北側事業地については念のために1箇所を試掘調査を実施し、その結果でその後の対応を判断することとした。	無し	無し	踏査
扇状地、台 地・段丘	道路用地	遺物の散布は確認されず、事業実施にあたり問題ないことを確認した。	無し	無し	踏査
火山麓地形	山林	物見峠B遺跡に4箇所、林之内遺跡に2箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘
火山麓地形	山林	遺跡可能性地1にトレンチ5箇所を設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘

II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
新庄河川事務所	70	最上川直轄河川大規模災害関連事業地(最上川中流)		遺跡可能性地	大石田町横山 大石田町大石田		
	71	水上沢第2砂防堰堤(寒河江川砂防)		中村館跡(322-021)	西川町大井沢	城館跡	中世
新庄河川事務所	72	小出沢第1砂防堰堤		片倉遺跡(421-023) 近接	庄内町肝煎		
	73	小出沢第2砂防堰堤(立谷沢川流域)		片倉遺跡(421-023) 近接	庄内町肝煎		
	74	松沢川第2砂防堰堤(赤川流域)			鶴岡市松沢		
飯豊山系砂防事務所	75	長沢砂防堰堤(仮称)		長沢遺跡(401-012)	小国町長沢	集落跡	縄文時代(晩期)
東北電力ネットワーク(株)	76	山形幹線昇圧延長工事	酒田市、真室川町、鮭川村、戸沢村、新庄市、大蔵村		酒田市、真室川町、鮭川村、戸沢村、新庄市、大蔵村		
NHK山形放送局	77	NHK山形放送局雪上車庫建設工事		山形城三の丸跡(201-003)	山形市桜町	城館跡	中世、近世

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
氾濫平野	宅地	事業地内に最上川舟運に関係する遺跡や、中世以前の遺跡が存在する可能性があることから、事業地一帯を遺跡可能性地として試掘調査を実施した。令和5年度は、横山陣屋が位置していたとされる、みちのく村山農業協同組合横山準低温倉庫のすぐ西側の地点に1箇所、事業地西端に2箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査 試掘
山地	山林	事業地は中村館跡の範囲外ではあるが、旧大日寺境内に隣接する部分について工事立会の協力を依頼しており、その範囲について草刈り後に地形確認を行った。段々に造成された平場は旧棚田の可能性が高いと判断し、平場部分の立会は不要とした。境内と平場の境目を大きく切土するため、その部分については工事立会とした。えん堤本体工事が行われる本堂裏手の地形も確認したが、沢状であり事業実施にあたり問題ない。	無し	無し	踏査
山地	山林	片倉遺跡は事業地東側の台地上に位置しており、事業地外であることを確認した。遺物の散布は確認されなかった。	無し	無し	踏査
山地	山林	片倉遺跡は事業地東側の台地上に位置しており、事業地外であることを確認した。遺物の散布は確認されなかった。	無し	無し	踏査
河岸段丘	河川	事業地は松沢川の河岸段丘及び河川内である。段丘上も市道松川線によりすでに削平を受けており、事業実施にあたり問題ないことを確認した。	無し	無し	踏査
山地	山林	事業実施前のボーリング調査に係り長沢遺跡内にモノレールを設置する予定。「慎重工事」の勧告が適当と判断された。また、令和10年度に予定される本体工事については「工事立会」の勧告とする。	無し	無し	踏査
山地	山林	酒田市と最上地域の複数の市町村にまたがる事業であることから、県が調整を担当するもの。事業地の踏査を実施した。引き続き事業者との現地確認、打合せを実施予定。	無し	無し	踏査
扇状地	宅地	現地確認の結果、「慎重工事」の勧告としたが、事業者の依頼を受けて工事立会の対応をとった。立会の結果、砕石下には黄褐色・暗褐色の造成土があり、その下(地表下60～80cm)で地山面が確認された。遺構は確認されず、造成土に陶器片を含む黒褐色土が混ざる状況が確認された。	無し	無し	踏査 工事立会

※ 位置図・図版の番号は分布調査概要の番号と一致する



1 谷柏古墳群



1 谷柏古墳群工事立会 (西から)



2 森合遺跡



2 森合遺跡 (南から)



3 白山堂遺跡



3 白山堂遺跡 (西から)



4 板橋2遺跡



4 板橋2遺跡 (東から)



5 大横秋山地区遺跡可能性地



5 大横秋山地区(北から)



6 白金遺跡



6 白金遺跡工事立会(南東から)



7 後久保遺跡



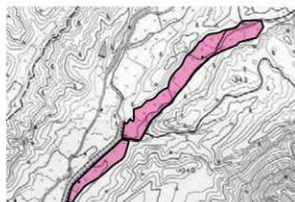
7 後久保遺跡(南東から)



8 沢原地区



8 沢原地区(南から)



9 立小路エボシカケ地区



9 立小路エボシカケ地区(北東から)



10 上野道跡



10 上野道跡工事立会(北から)



11 作の巻地区



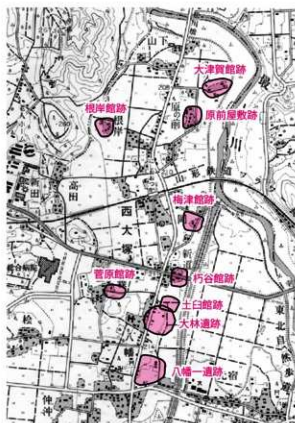
11 作の巻地区(北東から)



12 梅津館跡(北から)



12 土臼館跡(東から)



12 大塚北部地区



12 大津賀館跡 (南東から)



12 根岸館跡 (南東から)



12 原前屋敷跡 (南西から)



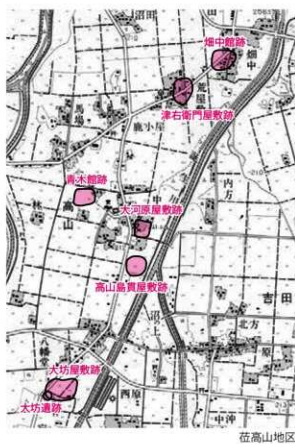
12 八幡一遺跡 (南西から)



13 青木館跡 (南西から)



13 大坊屋敷跡、大坊遺跡 (北東から)



13 津右衛門屋敷跡 (南西から)



13 四谷通跡 (南から)



13 伊藤伝屋敷跡 (西から)



13 煙中館跡 (西から)



13 岡崎御殿跡 (南から)



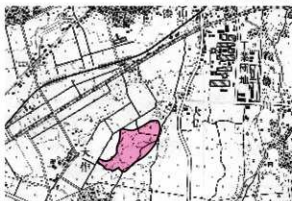
13 高山島貫屋敷跡 (南東から)



13 黒川遺跡 (南西から)



13 大河原屋敷跡 (北東から)



14 天王遺跡



14 天王遺跡 (南から)



15 成田地区遺跡可能性地



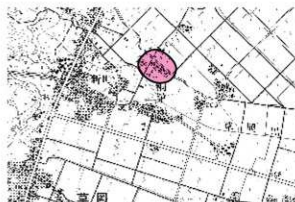
15 成田地区遺跡可能性地 (西から)



16 大屋敷跡



16 大屋敷跡 (南から)



16 草岡館跡



16 草岡館跡 (南から)



17 白川遺跡



17 白川遺跡 (南から)



18 中平田南第一地区



18 中平田南第一地区 (北から)



19 蚕桑遺跡、大沢遺跡、東部遺跡



19 蚕桑遺跡(東から)



19 大沢遺跡(東から)



19 二反割遺跡(南から)



20 二反割遺跡



20 二反割遺跡(西から)



21 当山地区(2期)遺跡可能性地1



21 当山地区(2期)遺跡可能性地1(南西から)



22 井岡遺跡



22 井岡遺跡工事立会 (北東から)



23 井岡地区遺跡可能性地



23 井岡地区遺跡可能性地 (南西から)



24 唐越遺跡隣接地



24 唐越遺跡隣接地 (南西から)



25 沢口橋跡



25 沢口橋跡 (南西から)



26 鶴ヶ岡城跡



26 鶴ヶ岡城跡工事立会 (東から)



27 諏訪前遺跡



27 諏訪前遺跡 (南西から)



29 都市計画道路山元蔵増線



28 都市計画道路山元蔵増線 (西から)



28 北向遺跡



29 北向遺跡 (南西から)



30 日和田遺跡



30 日和田工区 (西から)



31 米沢川西バイパス工区遺跡可能性地



31 米沢川西バイパス工区 (北から)



32 諏訪原2遺跡



32 諏訪原2遺跡 (北から)



33 野瀬遺跡



33 野瀬遺跡工事立会 (南から)



34 小白川工区



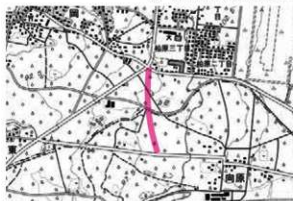
34 小白川工区 (南から)



35 大谷工区遺跡可能性地4



35 大谷工区遺跡可能性地4 (北東から)



36 成生工区



36 成生工区遺跡可能性地4 (南から)



37 別当屋敷遺跡



37 別当屋敷遺跡 (北から)



38 道路改築事業 (地價) 一般県道仁田山平岡線



38 道路改築事業（地債）一般県道仁田山平岡線（西から）



39 須川河川整備補助事業築堤工（南東から）



40 小鶴沢川河川整備事業（西から）



41 田沢川河川整備（北西から）



39 須川河川整備補助事業築堤工



40 小鶴沢川河川整備事業



41 田沢川河川整備



42 羽黒川河川整備事業



42 羽黒川河川整備事業（南から）



43 和田川河川整備



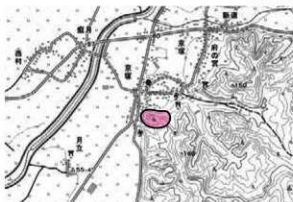
43 和田川河川整備（東から）



44 若木館跡



44 若木館跡（東から）



45 京塚館跡



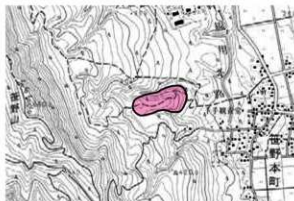
45 京塚館跡（南から）



46 織機川（矢ノ沢）大規模特定砂防等事業砂防えん堤



46 縮穂川(矢ノ沢)大規模特定砂防等事業砂防えん堤(南西から)



47 笹野山館跡



47 笹野山館跡(東から)



48 別所A遺跡



48 別所A遺跡(南東から)



49 桜沢遺跡



49 桜沢遺跡(南東から)



50 入沢地域防災力強化土砂災害対策事業



50 入沢地域防災力強化土砂災害対策事業 (北から)



51 山形県立上山高等養護学校・山形盲学校改築整備事業



51 山形県立上山高等養護学校・山形盲学校
改築整備事業 (北から)



52 明沢川発電所遺跡可能性地



52 明沢川発電所遺跡可能性地 (南西から)



53 村木沢駐在所予定地



53 村木沢駐在所予定地 (南東から)



54 最上川上流大規模関連災害事業 (左沢築堤)



54 最上川上流大規模関連災害事業(左沢築堤)(南から)



55 最上川上流満延地区管理用道路整備工事(南から)



55 最上川上流満延地区管理用道路整備工事



56 最上川上流荒砥地区外河道掘削工事(荒砥地区)



56 最上川上流荒砥地区外河道掘削工事(荒砥地区)(北東から)



57 最上川上流荒砥地区外河道掘削工事(長井地区)



57 最上川上流荒砥地区外河道掘削工事(長井地区)(北から)



58 最上川上流西大塚（上流・下流）地区



58 最上川上流西大塚（上流・下流）地区（北西から）



59 最上川上流梨郷地区河道掘削工事



59 最上川上流梨郷地区河道掘削工事（西から）



60 最上川上流村山地区河道整正等工事



60 最上川上流村山地区河道整正等工事（西から）



61 松下屋敷跡



61 松下屋敷跡（北から）



62 一般国道13号金山道路遺跡可能性地1



62 一般国道13号金山道路遺跡可能性地1(南東から)



63 一般国道13号真室川雄勝道路遺跡可能性地1



63 一般国道13号真室川雄勝道路遺跡可能性地1(南西から)



64 一般国道113号小国道路遺跡可能性地1



64 一般国道113号小国道路遺跡可能性地1(南から)



64 一般国道113号小国道路遺跡可能性地11



64 一般国道113号小国道路遺跡可能性地11(北から)



65 一般国道47号高屋防災事業



65 一般国道47号高屋防災事業(西から)



66 国道13号津久茂橋架替



66 国道13号津久茂橋架替(南から)



67 国道48号山形48号交通安全対策(山口歩道整備)



67 国道48号山形48号交通安全対策(山口歩道整備)(西から)



68 物見峠B遺跡・林之内遺跡



68 物見峠B遺跡(南から)



68 林之内遺跡 (東から)



69 一般国道7号遊佐象潟道路遺跡可能性地1 (東から)



70 最上川直轄河川大規模災害関連事業地 (最上川中流)



71 水上沢第2砂防堰堤 (寒河江川砂防) (北東から)



69 一般国道7号遊佐象潟道路遺跡可能性地1



70 最上川直轄河川大規模災害関連事業地 (最上川中流)



71 中村館跡



72・73 小出沢第1・2砂防堰堤



72・73 小出沢第1・2砂防堰堤跡(東から)



74 松沢川第2砂防堰堤



74 松沢川第2砂防堰堤(東から)



75 長沢遺跡



76 山形幹線昇任延長工事



75 長沢遺跡(西から)



76 山形幹線昇任延長工事 No.10 地点(北西から)



77 NHK 山形放送局雪上車庫建設工事



77 NHK 山形放送局雪上車庫建設工事 (南から)

2 試掘調査の概要

(1) 大横秋山地区遺跡可能性地 1・2

所在地 山形県村山市大横

調査員 竹田純子 稲村圭一 高橋敏

調査期日 令和5年10月24日、11月21日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）大横秋山地区

遺跡立地 標高：約100m 立地：段丘 地目：田、畑

試掘区 遺跡可能性地1にトレンチ4箇所、遺跡可能性地2にトレンチ5箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 遺跡可能性地1：60㎡、遺跡可能性地2：75㎡、

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 ー

所見 事業地は、最上川左岸の段丘上に位置し、標高は約100mを測る。令和2年度に実施した踏査において2箇所で須恵器を採取したことから、周辺の範囲をそれぞれ「遺跡可能性地1」、「遺跡可能性地2」とし、遺跡の有無を確認するための試掘調査を実施した。遺跡可能性地1に4箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、全てのトレンチにおいて遺構・遺物は確認されなかった。

また、遺跡可能性地2に5箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、全てのトレンチにおいて遺構・遺物は確認されなかった。

以上の結果から、当地に遺跡は所在しないものと判断された。

T1 (cm)

1	15	1.表土
2	30	2.黒褐色シルト、植物根を含む
3	60	3.黒色シルト
4		4.明黄褐色シルト

T2 (cm)

1	15	1.表土
2	25	2.黒色シルト、植物根を含む
3	35	3.黒色シルト、明黄褐色シルトを含む
4	45	4.明黄褐色シルト

T3 (cm)

1	10	1.表土
2	20	2.黒褐色シルト、植物根を含む
3	35	3.黒色シルト
4	50	4.黒色シルト、明黄褐色シルトを含む
5		5.明黄褐色シルト

T4 (cm)

1	20	1.表土
2	30	2.黒褐色シルト、植物根を含む
3	40	3.黒色シルト
4	75	4.黒色シルト、明黄褐色シルトを含む
5		5.明黄褐色シルト

大横秋山地区遺跡可能性地1 土層図



大横秋山地区遺跡可能性地1・2 トレンチ配置図

T5 (cm)

1	-30	1.表土
2	-45	2.黒褐色シルト、植物根を含む
3	-60	3.黒色シルト、明黄褐色シルトを含む
4		4.明黄褐色シルト

T6 (cm)

1	-15	1.表土
2	-35	2.黒褐色シルト、植物根を含む
3	-60	3.黒色シルト、明黄褐色シルトを含む
4		4.明黄褐色シルト

T7 (cm)

1	-25	1.表土
2	-45	2.黒褐色シルト、明橙色土粒・植物根を含む
3		3.明黄褐色シルト

T8 (cm)

1	-25	1.表土
2	-40	2.黒褐色シルト、植物根を含む
3	-55	3.黒色シルト、明黄褐色シルトを含む
4		4.明黄褐色シルト

T9 (cm)

1	-20	1.表土
2	-45	2.黒褐色シルト、植物根を含む
3	-55	3.黒色シルト、明黄褐色シルトを含む
4		4.明黄褐色シルト

大横秋山地区遺跡可能性地2 土層図



遺跡可能性地1 T1 全景 (東から)



遺跡可能性地1 T1 土層断面 (南から)



遺跡可能性地1 T1 全景 (南から)



遺跡可能性地1 T1 土層断面 (東から)

II 調査の概要



遺跡可能性地2 T 5全景 (北から)



遺跡可能性地2 T 5土層断面 (東から)



遺跡可能性地2 T 6全景 (南から)



遺跡可能性地2 T 6土層断面 (西から)



遺跡可能性地2 T 8全景 (北から)



遺跡可能性地2 T 8土層断面 (東から)



遺跡可能性地2 T 9全景 (北から)



遺跡可能性地2 T 9土層断面 (東から)

(2) 成田地区遺跡可能性地 1

所在地 山形県長井市成田

調査員 竹田純子 高橋敏

調査期日 令和5年11月10日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）成田地区

遺跡立地 標高：約200m 立地：河岸低地 地目：田

試掘区 事業予定地内にトレンチ6箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 90.0㎡

検出遺構 なし

出土遺物 土師器片

時代 —

所見 試掘対象地は、平成28年度に実施した踏査で土器片を採取したため、周辺を遺跡可能性地1として遺跡の有無を確認するため試掘調査を実施したもの。飯沢北館跡の南西部分が遺跡可能性地1に重複する。令和元年において試掘対象地南東端部の試掘調査を実施しており、トレンチ1において旧河川を検出している。

トレンチ番号は前回調査に引き続き、トレンチ3～8とした。事業地内に6箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、全てのトレンチにおいて遺構は確認されなかった。トレンチ6～8においては土師器片が出土したが、過去のほ場整備時の造成土中への混入であり、原位置を留めていないものと判断された。その他のトレンチにおいて遺物は出土しなかった。

以上の状況から、当地に遺跡は所在しないものと判断された。



T 3 全景 (北から)



T 3 土層断面 (東から)

II 調査の概要



T3 (cm)

1	-20	1.耕作土
2	-28	2.暗褐色シルト
3	-28	3.暗褐色シルト、礫を少量含む
4	-35	4.灰色シルト
5	-50	5.青灰色砂質シルト
6	-60	

T4 (cm)

1	-15	1.耕作土
2	-25	2.暗褐色シルト
3	-25	3.灰色シルト、青灰色砂質シルト
4	-30	ブロックを含む
5	-40	4.青灰色砂質シルト

T5 (cm)

1	-20	1.耕作土
2	-25	2.暗褐色シルト、橙色土粒を含む
3	-35	3.灰色シルト
4	-45	4.灰色シルト、青灰色砂質シルト
5	-55	ブロックを含む
6	-65	6.青灰色砂質シルト

T6 (cm)

1	-15	1.耕作土
2	-25	2.灰黄褐色シルト、橙色土粒を含む
3	-25	3.灰色シルト
4	-30	4.灰黄褐色シルト
5	-50	5.灰色シルト
6	-55	6.青灰色砂質シルト
7	-70	7.明緑灰色砂質シルト

T7 (cm)

1	-15	1.耕作土
2	-25	2.灰黄褐色シルト
3	-40	3.灰色シルト
4	-50	4.明緑灰色砂質シルト

T8 (cm)

1	-15	1.耕作土
2	-25	2.灰黄褐色シルト
3	-40	3.灰色シルト
4	-50	4.青灰色砂質シルト

成田地区遺跡可能性地1 土層図



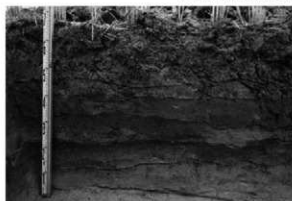
T 4 全景 (南から)



T 4 土層断面 (東から)



T 5 全景 (北から)



T 5 土層断面 (西から)



T 6 全景 (北から)



T 6 土層断面 (東から)



T 7 全景 (北から)



T 7 土層断面 (東から)

(3) 当山地区(2期地区)遺跡可能性地1

所在地 山形県遊佐町当山

調査員 竹田純子 稲村圭一

調査期日 令和5年11月9日

起因事業 農地整備事業(経営体育成型)当山地区

遺跡立地 標高:約23~30m 立地:火山麓地形 地目:畑

試掘区 事業予定地内にトレンチ4箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 17.4㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 —

所見 平成30年度に当事業地の踏査を実施した。事業地は過去の団体営ほ場整備事業において大部分が大きく切盛土され、令和3年度に実施した内林遺跡・沢成遺跡の試掘調査において遺跡が削平されていることが確認された。一方、畑として使用している範囲については、ほ場整備事業から外れ地形が改変されていないことが確認されたため、令和3年度に改めて踏査を実施し、当該地を「遺跡可能性地1」としたものである。

遺跡可能性地1内にトレンチを4箇所設定して調査を行った結果、全てのトレンチにおいて遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。

T1 (cm)		
1	-20	1.表土
2	-50	2.褐灰色シルト
3	-70	3.黒褐色シルト
4		4.にぶい黄橙色シルト

T3 (cm)		
1	-20	1.表土
2	-70	2.褐灰色シルト
3	-90	3.黒褐色シルト
4		4.にぶい黄橙色シルト

T2 (cm)		
1	-30	1.表土
2		2.にぶい黄橙色シルト、褐灰色シルトを含む

T4 (cm)		
1	-20	1.耕作土
2	-45	2.褐灰色シルト、にぶい黄橙色シルトブロックを含む
3		3.にぶい黄橙色シルト

当山地区(2期)遺跡可能性地1 土層図



当山地区(2期)遺跡可能性地1 トレンチ配置図

II 調査の概要



T 1 全景 (西から)



T 1 土層断面 (北西から)



T 2 全景 (北から)



T 2 土層断面 (東から)



T 3 全景 (北から)



T 3 土層断面 (南西から)



T 4 全景 (西から)



T 4 土層断面 (南から)

(4) 井岡地区遺跡可能性地

所在地 山形県鶴岡市井岡

調査員 竹田純子 稲村圭一

調査期日 令和5年12月20日

調査協力 庄内総合支庁産業経済部農村整備課、庄内赤川土地改良区

起回事業 農地整備事業（中山間地域型）井岡地区

遺跡立地 標高：約17m 立地：氾濫平野 地目：田

試掘区 事業予定地内にトレンチ6箇所を設定した。

試掘方法 人力で試掘調査を実施。

試掘面積 6.0㎡

検出遺構 なし

出土遺物 陶磁器

時代 ー

所見 事業地は、国道345号線の北側、青龍寺川左岸の氾濫平野上に位置する。令和4年度に実施した踏査において古代の遺物を採取したため、遺物の散布が確認された付近を「遺跡可能性地」として試掘調査を実施した。なお、踏査において広範囲で遺物の散布が確認されていることから、今回の試掘調査は設計や試掘調査計画に活かすために、土層確認を目的とした。また、地盤が軟弱なため手掘り調査とした。

遺跡可能性地のうち2筆に調査区を6箇所設定し、土層を確認した。調査の結果、遺構確認面までの深さは35～50cmであり、トレンチ4の3層から中世陶器片が出土した。旧地形が残っていることを確認した。

T1 (cm)

1	-20	1.耕作土
2	-30	2.褐灰色シルト、細礫を含む
3	-50	3.黒褐色粘質土、炭・細礫を含む (自然堆積層)
4		4.明緑灰色粘質土

T2 (cm)

1	-20	1.耕作土
2	-40	2.褐灰色シルト、細礫を含む
3	-50	3.黒褐色粘質土、炭・細礫を含む (自然堆積層)
4		4.明緑灰色粘質土

T3 (cm)

1	-15	1.耕作土
2	-25	2.褐灰色シルト、細礫を含む
3	-50	3.黒褐色粘質土、炭・細礫を含む (自然堆積層)
4		4.明緑灰色粘質土

T4 (cm)

1	-15	1.耕作土
2	-30	2.褐灰色シルト、細礫を含む
3	-40	3.黒褐色粘質土、炭・細礫を含む (自然堆積層)
4		4.明緑灰色粘質土

T5 (cm)

1	-15	1.耕作土
2	-35	2.黒褐色シルト、炭化物・礫を含む
3		3.明緑灰色粘質土

T6 (cm)

1	-15	1.耕作土
2	-23	2.黒褐色シルト、礫を含む
3	-35	3.黒褐色粘質土、木片を含む
4		4.明緑灰色粘質土

井岡地区遺跡可能性地 土層図

II 調査の概要





II 調査の概要



T 1 全景 (西から)



T 1 土層断面 (西から)



T 2 全景 (西から)



T 2 土層断面 (西から)



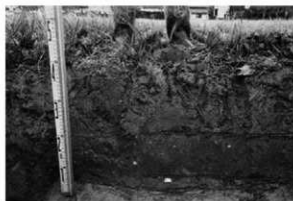
T 3 全景 (西から)



T 3 土層断面 (西から)



T 5 全景 (北から)



T 5 土層断面 (北から)

(5) 唐越遺跡隣接地

所在地 山形県南陽市三間通
 調査員 竹田純子 岩崎恒平
 調査期日 令和5年5月9日、8月29日
 起回事業 置賜家畜保健衛生所整備
 遺跡立地 標高：約228m 立地：扇状地 地目：衛生所敷地
 試掘区 事業予定地内にトレンチ3箇所を設定した。
 試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。
 試掘面積 17.0㎡
 検出遺構 なし
 出土遺物 土師器片
 時代 —

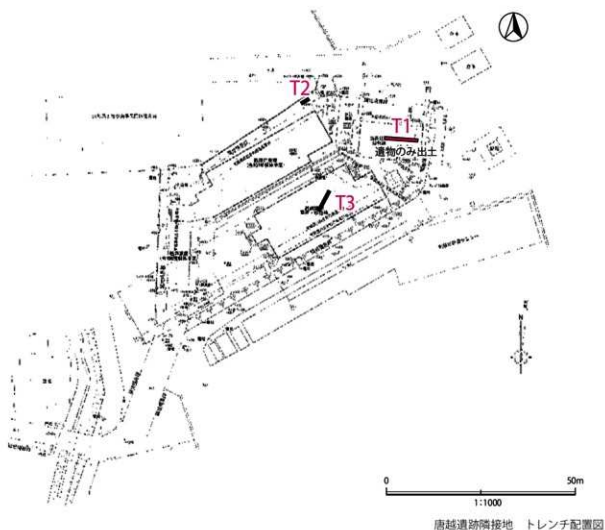
所見 事業地は、南陽市を南流する吉野川右岸の扇状地上に位置する。周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲外であるが、事業地南側に唐越遺跡が隣接することから、遺跡の広がりを確認するため試掘調査を実施した。

事業地内に3箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、解剖室・焼却炉改築予定地に設定したトレンチ1では、黒色粘土層(4層)から古代の遺物が出土したが、状況から流れ込みによるものと判断された。地表下約1.5mで遺構検出面と考えられる安定した土層に到達したが、遺構は確認されなかった。

車庫改築予定地に設定したトレンチ2では、遺構・遺物は確認されず、河川の氾濫等の影響による砂礫層が広がっている状況が確認された。事務・検査棟建設予定地に設定したトレンチ3では、遺構・遺物は確認されなかった。地表下約1mまでは、敷地造成時の盛土と考えられる礫を多く含む土層が堆積していた。地表下約1.2mで遺構検出面と考えられる土層に到達したが、遺構は確認されなかった。砂を多く含み、北東側はグライ化する状況が確認された。

これらの調査結果から、唐越遺跡の範囲は事業地まで広がらないものと判断された。

II 調査の概要



T1 (cm)	
1	1.表土
2	-15 2.褐色土(盛土)
3	-40 3.暗褐色土、礫を多量に含む(盛土)
4	-100 4.黒褐色粘土(遺物出土)
5	-115 5.暗褐色粘質シルト
6	-140 6.褐色粘質シルト、粗砂を含む
7	-150 7.にぶい黄褐色砂質シルト
	-160

T3 (cm)	
1	1.表土
2	-20 2.褐色土、植物根を含む(盛土)
3	-40 3.褐灰色土、礫を多量に含む(盛土)
4	-100 4.暗灰色粘土
5	-110 5.青灰色粘土
6	-120 6.にぶい黄褐色シルト、砂を多く含む
	-130

T2 (cm)	
1	1.表土
2	-10 2.褐色土(盛土)
3	-30 3.暗褐色土、礫を多量に含む(盛土)
4	-70 4.褐灰色粘質シルト(盛土)
5	-110 5.暗褐色粘質シルト、粗砂を含む
6	-120 6.にぶい黄褐色砂礫層
	-130

唐越遺跡隣接地 土層図



T 1 全景 (西から)



T 1 土層断面 (南から)



T 2 全景 (南西から)



T 2 土層断面 (南東から)



T 3 全景 (南西から)



T 3 土層断面 (東から)



T 1 出土遺物

(6) 諏訪前遺跡

所在地 山形県南陽市三間通

調査員 竹田純子 岩崎恒平

調査期日 令和5年7月13日

起因事業 都市計画道路事業赤湯停車場線

遺跡立地 標高：約220m、立地：扇状地、地目：宅地

試掘区 事業予定地に1箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 7.0㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 縄文時代(中期)、古墳時代(前期)、平安時代

所見 事業地は、南陽市を南流する古野川右岸の扇状地上に位置する。諏訪前遺跡の範囲内に含まれることから、試掘調査を実施したもの。

事業地内にトレンチ1箇所を設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。過去の住宅建設時の影響と考えられる攪乱層が地表下約50cmまで確認された。ピット状の土色変化を数箇所確認したが、精査した結果、造成面からの比較的新しい時期の掘り込みであると判断された。

T1 (cm)	
1	-15
2	-35
3	-55

1. 砕石・盛土
2. 黒褐色シルト、ゴミ・礫を含む(造成土)
3. 青灰色砂(トレンチ北側は酸化鉄を含む)

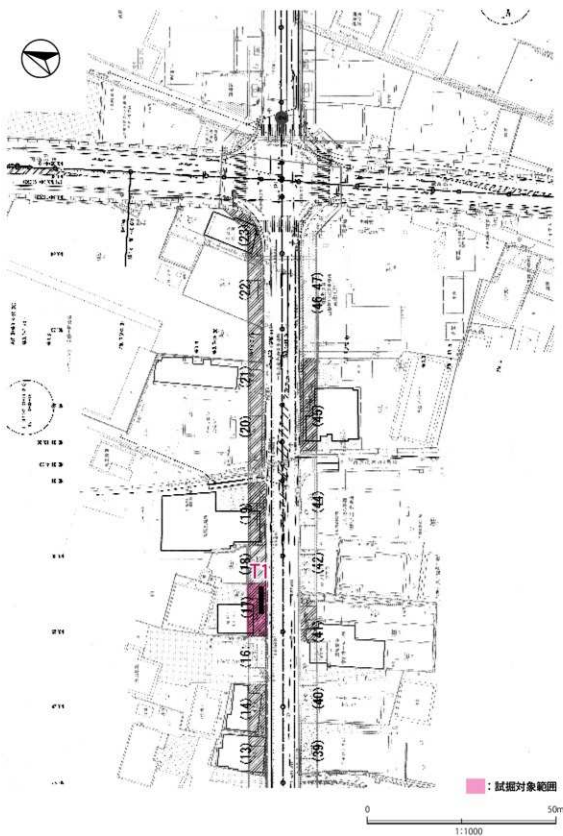
諏訪前遺跡 土層図



T1全景(南東から)



T1土層断面(南から)



調査前遺跡 トレンチ配置図

(7) 北向遺跡隣接地

所在地	山形県山形市青柳
調査員	竹田純子 岩崎恒平
調査期日	令和5年6月26日・27日
起因事業	交通安全道路事業（補助）（一）東山七浦線
遺跡立地	標高：約121m、立地：扇状地、地目：宅地
試掘区	事業予定地内にトレンチ2箇所を設定した。
試掘方法	重機及び人力で試掘調査を実施。
試掘面積	26.3㎡
検出遺構	なし
出土遺物	土師器

所 見 当該地は、山形市北東部の JR 仙山線橋山駅から南西に約 600m の地点に位置する。当事業にあたっては、平成 14 年度に実施した試掘調査で奈良・平安時代の遺構・遺物が確認され、平成 15・17 年度、令和 4・5 年度に（公財）山形県埋蔵文化財センターが記録保存のための発掘調査を実施している。

令和 5 年度に行われている発掘調査において、遺跡西端の調査区から遺構・遺物が確認されていることから、遺跡の広がりを確認するため試掘調査を実施した。なお、トレンチ番号は令和 4 年度に続きトレンチ 6・7 とした。

事業地内にトレンチを 2 箇所設定して調査を行った結果、トレンチ 6 では遺構・遺物は確認されず、河川堆積と考えられる砂礫層が確認された。トレンチ 7 では 2 層中から摩滅した土師器片が出土したが、遺構は確認されなかった。2・3 層の堆積は薄く、下層には河川堆積の影響による砂礫層が堆積している状況から、遺物は流れ込みによるものと判断された。

以上の結果から、今回の試掘調査範囲まで遺跡は広がらないものと判断された。

T6 西側 (cm)

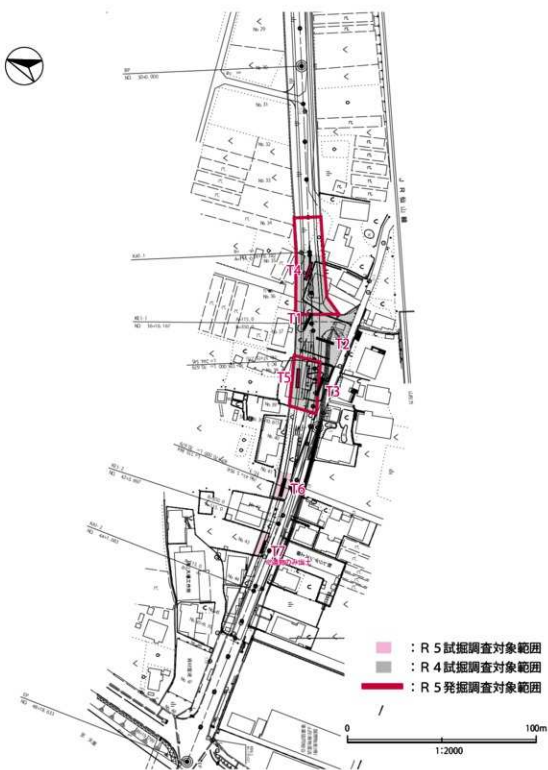
1	-20	1. 砕石
2	-70	2. 褐灰色シルト、礫・ゴミを含む(盛土)
3	-110	3. 暗褐色シルト、砂・φ～20cmの礫を含む
4	-170	4. 砂礫層

T7 (cm)

1	-20	1. にぶい黄褐色シルト
2	-35	2. 黒褐色シルト、炭化物・遺物・φ～5cmの礫を含む
3	-40	3. 灰黄褐色シルト
4		4. 砂礫層

T6 東側 (cm)

1	-20	1. 砕石
2	-50	2. 褐灰色シルト、礫・ゴミを含む(盛土)
3	-100	3. 暗褐色シルト、砂・φ～20cmの礫を含む
4	-150	4. 砂礫層



北向通跡隣接地 トレンチ配置図

II 調査の概要



T 6 西側全景 (南西から)



T 6 西側土層断面 (南から)



T 6 東側全景 (東から)



T 6 東側土層断面 (南から)



T 7 試験対象地 (西から)



T 7 全景 (西から)



T 7 土層断面 (南西から)



T 7 出土遺物

(8) 太夫小屋3遺跡隣接地

所在地 山形県川西町時田

調査員 竹田純子 岩崎恒平

調査期日 令和5年6月21日

起因事業 道路改築事業(補助)(国)287号 道路改良工事 米沢川西バイパス工区

遺跡立地 標高:約215~217m、立地:扇状地、氾濫平野、地目:田

試掘区 事業予定地内にトレンチ5箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 29.0㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

所見 当該地は、黒川と犬川に挟まれた扇状地及び氾濫平野上に位置する。平成30年度に踏査を実施しており、遺物の散布は確認されなかったが、事業用地の東側に太夫小屋3遺跡が隣接することから、試掘調査を実施した。

事業地内にトレンチを5箇所設定して調査を行った結果、すべてのトレンチにおいて遺構・遺物は確認されなかった。トレンチ1では、地表下約30cmで比較的安定した基盤層を検出したが、上面が削平されている状況が確認された。トレンチ2~5では、砂礫層や粘土層が堆積する低地の様相が確認された。また、東側に向かって落込む地形に盛土して造成している状況が確認された。

以上の状況から、当地に遺跡は所在しないものと判断された。

T1 (cm)

1	-10	1.耕作土
2	-20	2.褐色シルト
3	-27	3.褐色シルト、酸化鉄を多く含む
4	-30	4.黒褐色シルト
5		5.にぶい黄褐色シルト、黒褐色シルトを含む

T2 (cm)

1	-15	1.耕作土
2	-45	2.暗褐色シルト、酸化鉄を多く含む
3	-65	3.灰色粘土、酸化鉄を多量に含む
4	-70	4.灰色粘土、砂を含む
5	-100	5.灰色砂、φ~5cmの礫を含む

T3 (cm)

1	-15	1.耕作土
2	-45	2.褐色シルト、酸化鉄を含む
3	-65	3.灰黄褐色シルト、炭化物・白色粘土・有機物を含む
4	-70	4.暗灰色粘質シルト
5	-100	5.黒色粘土、下層に明青灰色粘土を含む
6		6.明青灰色粘土

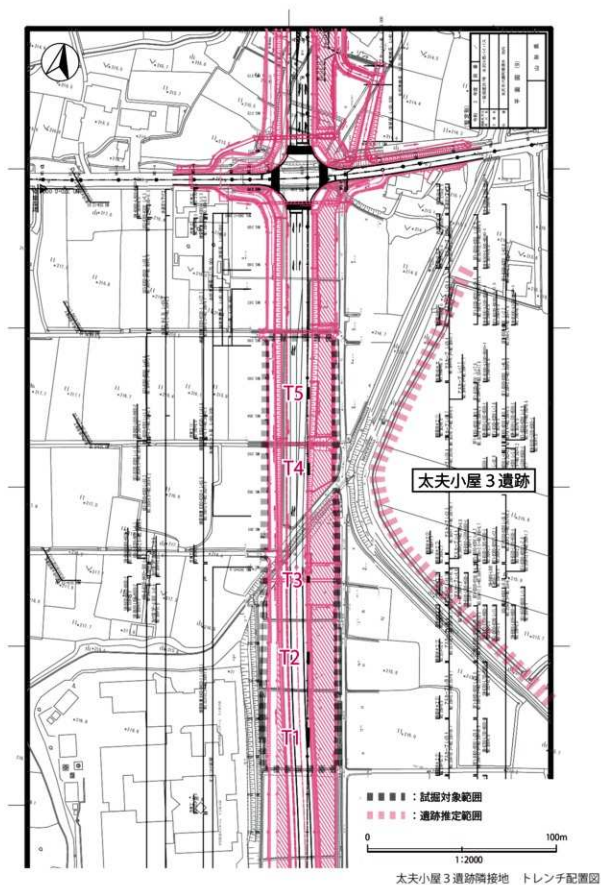
T4 (cm)

1	-10	1.耕作土
2	-20	2.褐色シルト、炭化物を含む
3	-40	3.褐色シルト、酸化鉄・炭化物・白色粘土を含む
4	-50	4.灰色粘質シルト、酸化鉄を含む
5	-60	5.オリブ灰色粘土、明青灰色粘土を含む
6		6.明青灰色粘土、砂を含む

T5 (cm)

1	-15	1.耕作土
2	-30	2.褐色シルト、酸化鉄を含む
3	-80	3.褐色シルトと黒褐色シルトの混合層
4	-115	4.浅黄色粘土、明青灰色粘土を含む
5		5.明青灰色粘土、砂を含む

太夫小屋3遺跡隣接地 土層図





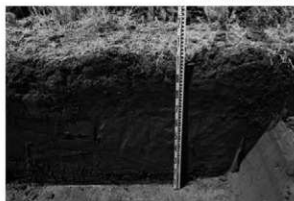
T 1 全景 (北から)



T 1 土層断面 (東から)



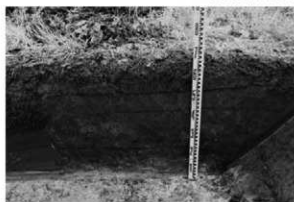
T 2 全景 (北から)



T 2 土層断面 (東から)



T 4 全景 (北から)



T 4 土層断面 (東から)



T 5 全景 (北から)



T 5 土層断面 (東から)

(9) 山辺工区遺跡可能性地1・2・3・4・5・8 (諏訪原^{すわはら}2遺跡)

所在地 山形県山辺町山辺

調査員 竹田純子 稲村圭一 高橋敏

調査期日 令和5年12月5日、12日、19日、27日、令和6年1月9日

起回事業 交通安全道路事業(主)山形朝日線歩道設置工事

遺跡立地 標高:約120~130m、立地:台地・段丘面、地目:果樹、畑

試掘区 事業予定地内にトレンチ11箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 74.02㎡

検出遺構 土坑、柱穴、溝状遺構

出土遺物 中世陶器

所見 当該地は、令和4年5月に実施した事業区の踏査において、周辺の埋蔵文化財包蔵地の所在の状況から関連する遺跡の存在が推測されたため、「遺跡可能性地1~8」として遺跡の有無を確認するための試掘調査を実施した。

遺跡可能性地3に設定したトレンチ1・2では、トレンチ2において溝跡を確認した。溝跡は幅約50cmを測り、南北方向にほぼ直行する状態で検出した。この溝跡は残存する地割の南北向きとほぼ並行しているが、事業地を含む周辺一帯は明治期の地図では桑畑であり、以降果樹畑へと土地利用が変遷していることから推測すると、この地割はそれ以前に区画されたものであり、周囲に所在する遺跡の状況から、この溝跡は近世以前に属する可能性が高いものと考えられる。

遺跡可能性地2に設定したトレンチ3・4では、両トレンチで溝跡を確認した。南北方向に直行する幅200cmを測る溝跡で、両トレンチで確認した溝跡はその向きや形状から同一遺構と考えられる。この溝跡は、トレンチ4内でL字状に西側に折れ曲がる状況を確認し、凡そ何らかの施設を区画する溝跡であると思われる。また、遺跡可能性地1で確認した溝跡と向きが同一であり、同時期の関連する遺構群と推測される。

遺跡可能性地5に設定したトレンチ5・6では、トレンチ6において溝跡・土坑と遺物を確認した。溝跡は幅約180cmを測り、東西方向にほぼ直行する状態で検出した。検出面から中世陶器の裏片が出土したことから、この溝跡は中世期に属するものと判断した。概ね遺跡可能性地2・3で確認された遺構(溝跡)も本溝跡と同じ検出面で、その向き方向が関連するものと推測されることから、一連の遺構群は同時期(中世)の所産である可能性が高い。確認した土坑についても、同じ検出面であることから同時期(中世)のものとして推測される。

遺跡可能性地4に設定したトレンチ7・8では、遺構・遺物は確認されなかった。

遺跡可能性地1に設定したトレンチ9では、溝跡・柱穴などの遺構を確認した。溝跡は幅約60cmを測り、東西方向にほぼ直行する状態で検出した。柱穴も3基確認し、いずれも遺構も検出面が同一であるため、これまでの遺跡可能性地の遺構群との関連が推

測される。

遺跡可能性地 8 に設定したトレンチ 10・11 では、トレンチ 11 において柱穴 2 基を確認した。検出した深さは、地表面下 70cm の基本土層Ⅲ層の上面である。トレンチ 6 で確認した溝跡の検出面と深さが一致するため、関連する遺構群であると推測される。中世の集落又は屋敷地が、遺跡可能性地 8 の一部範囲まで存在していたと考えられる。

以上の調査結果から、遺構・遺物を確認した付近一帯には、出土遺物の特徴からは、中世の集落又は屋敷地が所在していたと考えられる。試掘調査を実施した範囲を「諏訪原 2 遺跡（県№ 301-077）」として新規登録する。遺跡可能性地 1・2・3・5・8 のうち、遺構・遺物が確認された範囲については、令和 6 年度に記録保存調査を実施予定。

試掘調査を実施していない土地区画（遺跡可能性地 6・7）については、今後試掘調査が必要である。

T1 (cm)

1	-40	1.表土
2	-65	2.暗褐色砂質土、小礫を少量含む
3		3.黒褐色・褐色・黄褐色砂質土の混合層（遺構検出面）

T2 (cm)

1	-60	1.表土
2	-75	2.暗褐色砂質土、小礫を少量含む
3		3.黒褐色・褐色・黄褐色砂質土の混合層（遺構検出面）

T3 (cm)

1	-20	1.表土
2	-32	2.暗褐色砂質土
3	-52	3.黒褐色砂質土、鉄分を含む
4		4.明黄褐色砂質土、鉄分を含む（地山）

T4 (cm)

1	-20	1.表土
2	-32	2.黒褐色砂質土、鉄分を含む
3	-52	3.2層と4層の混入層
4		4.明黄褐色砂質土、鉄分を含む（地山）

T5 (cm)

1	-50	1.表土
2	-90	2.黒褐色砂質土、鉄分を含む
3	-100	3.暗褐色砂質土、褐色土粒を少量含む
4		4.褐色砂質土（地山）

T6 (cm)

1	-30	1.表土
2	-70	2.黒褐色砂質土、鉄分を含む
3	-100	3.暗褐色砂質土、褐色土粒・小礫を少量含む
4		4.褐色砂質土（地山）

T7 (cm)

1	-30	1.表土
2	-60	2.暗褐色砂質土、小礫を少量含む
3	-130	3.黒褐色・褐色・黄褐色砂土の混合層（遺構検出面）
4		4.にぶい黄褐色砂質土、固く締まる（地山）

T8 (cm)

1	-30	1.表土
2	-45	2.暗褐色砂質土、小礫を少量含む
3		3.黒褐色・褐色・黄褐色砂土の混合層（遺構検出面）

T9 (cm)

1	-10	1.表土
2	-55	2.暗褐色砂質土、小礫を少量含む
3		3.黒褐色・褐色・黄褐色砂土の混合層（遺構検出面）

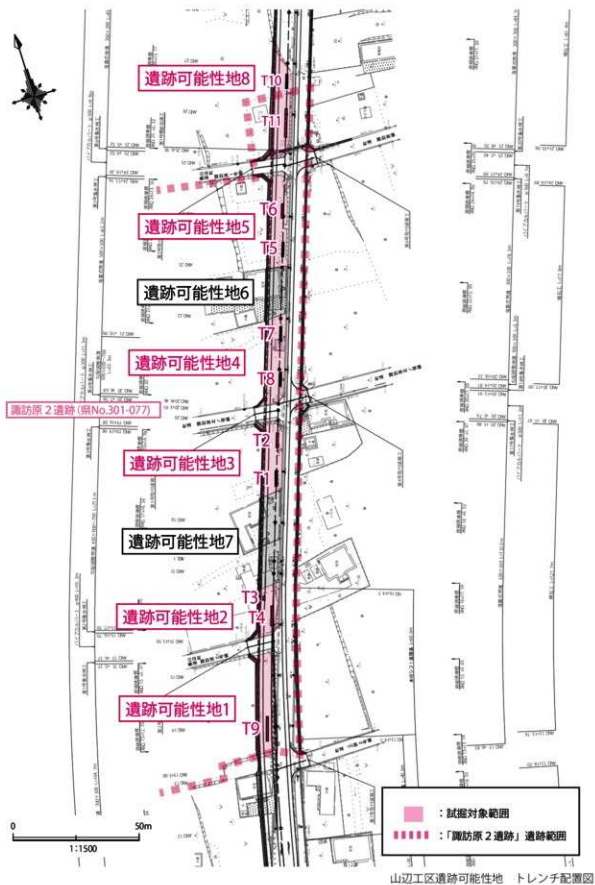
T10 (cm)

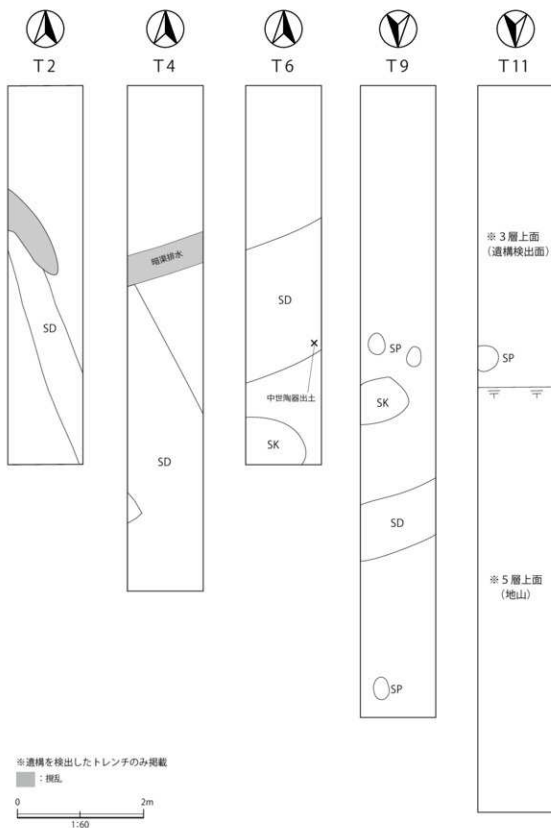
1	-20	1.表土
2	-45	2.黒褐色粘質土、褐色砂・植物根を含む
3	-58	3.黒褐色粘質土、にぶい黄褐色砂質土を含む
4	-70	4.にぶい黄褐色砂質土

T11 (cm)

1	-37	1.表土
2	-47	2.黒褐色粘質土
3	-57	3.暗褐色・黒褐色・黄色砂の混合層（遺構検出面）
4	-70	4.黒褐色粘質土
5	-85	5.褐色・黒褐色・黄色砂の混合層

山辺工区遺跡可能性地 土層図





山辺工区遺跡可能性地 遺構検出平面図



遺跡可能性地1 T9全景(南から)



遺跡可能性地1 T9土層断面(東から)



遺跡可能性地1 T9遺構検出状況(北から)



遺跡可能性地2 T4全景(南から)



遺跡可能性地2 T4土層断面(西から)



遺跡可能性地2 T4溝状遺構(北東から)



遺跡可能性地3 T2全景(北から)



遺跡可能性地3 T2土層断面(東から)



遺跡可能性地3 T2溝状遺構検出状況(北西から)



遺跡可能性地5 T6全景(北から)



遺跡可能性地5 T6土層断面(西から)



遺跡可能性地5 T6遺構検出状況(南西から)



遺跡可能性地8 T11全景(南から)



遺跡可能性地8 T11土層断面(東から)



遺跡可能性地8 T11柱穴検出状況(西から)

(10) 大谷工区遺跡可能性地 4

所在地 山形県朝日町大谷

調査員 竹田純子 稲村圭一

調査期日 令和5年12月7日

起回事業 交通安全事業(補助)(主)長井大江線道路改良工事大谷工区

遺跡立地 標高:約146m、立地:河岸段丘、地目:荒蕪地

試掘区 事業予定地に2箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 21.0㎡

検出遺構 遺物包含層

出土遺物 縄文土器

時代 —

所見 事業地は最上川と大谷川の合流点から北に約850mの地点、大谷川左岸の段丘上に位置する。令和4年度に実施した踏査において、遺物の散布は確認されなかったものの、大谷川の河岸段丘上に遺跡が存在する可能性があることから、当該範囲を「遺跡可能性地4」とし、遺跡の有無を確認するための試掘調査を実施したものの。

調査の結果、トレンチ1において地表下1.3m～1.5mで縄文時代の遺物包含層を確認した。遺物包含層は黒色のシルト層で、約20～40cmの厚さで堆積が確認された。包含層からは縄文土器及び剥片が出土した。トレンチ2では、粘土質の土壌が堆積しており、遺構・遺物は確認されなかった。遺跡可能性地4のうち、試掘調査未実施の範囲については、今後継続して調査を実施予定。

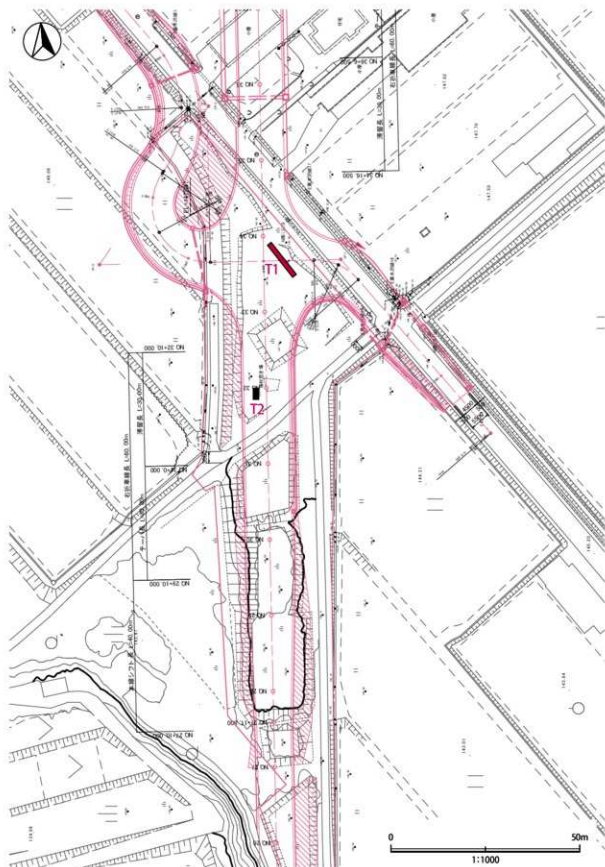
T1 (cm)

1	-125	1.盛土
2	-155	2.褐灰色シルト
3	-195	3.黒色シルト (遺物包含層)
4		4.黄褐色砂礫

T2 (cm)

1	-10	1.盛土
2	-70	2.黒褐色シルト、植物根を含む
3	-110	3.黄褐色粘質シルト

大谷工区遺跡可能性地4 土層図



大谷工区遺跡可能性地4 トレンチ配置図

II 調査の概要



T 1 全景 (北西から)



T 1 土層断面 (北東から)



T 1 遺物包含層 (北西から)



T 2 全景 (南から)



T 2 土層断面 (東から)



T 1 出土遺物



T 1 出土遺物

(11) 成生工区遺跡可能性地3・4

所在地 山形県天童市成生、東根市羽入

調査員 竹田純子 稲村圭一

調査期日 令和6年3月14日、21日

起因事業 主要地方道山形天童線道路改良工事成生工区

遺跡立地 標高：約98m、立地：扇状地、氾濫原、河岸段丘 地目：畑、果樹

試掘区 遺跡可能性地3に4箇所、遺跡可能性地4に4箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 85.0㎡

検出遺構 竪穴建物跡、土坑

出土遺物 須恵器、土師器

時代 一

所見 事業地は、乱川右岸の扇状地に位置する。当該事業に係り令和3年度に踏査を実施した結果、当地は旧河川跡に挟まれた微高地であり改変が少ない土地と考えられたことから、周辺を「遺跡可能性地3」、「遺跡可能性地4」とし、遺跡の有無を確認するための調査を実施したもの。

遺跡可能性地3に4箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、すべてのトレンチにおいて遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。対象地一帯は、表土層下は砂礫が厚く堆積し、乱川の氾濫原と考えられた。

また、遺跡可能性地4に4箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、トレンチ1～4、6、7、9、10において遺構や遺物包含層を確認し、平安時代の須恵器・土師器片が出土した。トレンチ2では竪穴建物跡、トレンチ3では土坑、トレンチ4では遺構と考えられる土色変化を確認している。トレンチ5では遺構・遺物は確認されなかった。トレンチ8においても遺構は確認されず、河川堆積と考えられる砂礫層が確認された。当地は遺跡であり、西側に隣接する「東原遺跡」が当地まで続いているものと考えられることから、今後、遺跡の範囲修正を行う。

T1 (cm)	
1	1.表土
2	10 2.黄褐色シルト
3	25 3.暗褐色シルト、礫を多く含む
4	45 4.黄褐色砂礫
	75

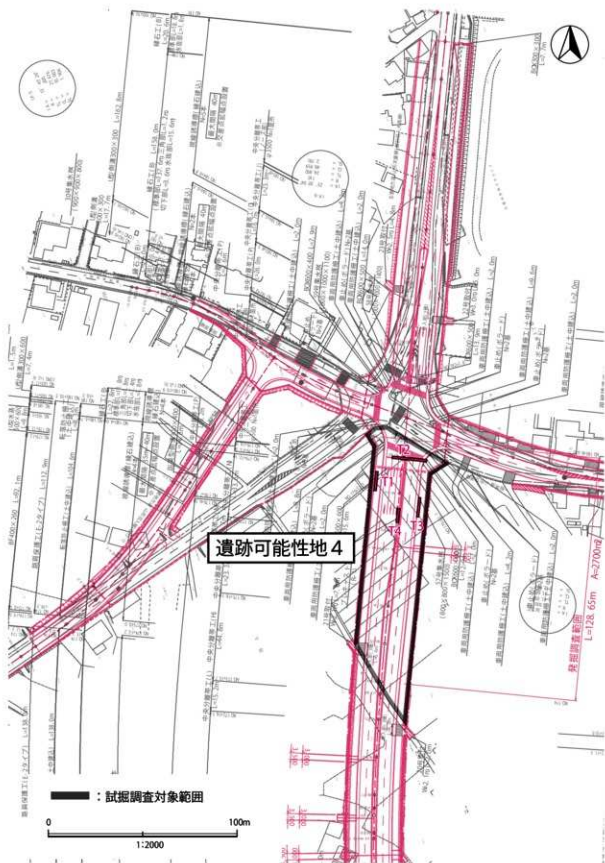
T2 (cm)	
1	1.表土
2	15 2.黄褐色シルト、礫を多く含む
3	40 3.黄褐色砂礫
	50 *深掘箇所 -1.7mまで砂礫層

T3 (cm)	
1	1.表土
2	10 2.黄褐色シルト、礫を多く含む
3	35 3.黄褐色砂礫
	*深掘箇所 -1.5mまで砂礫層

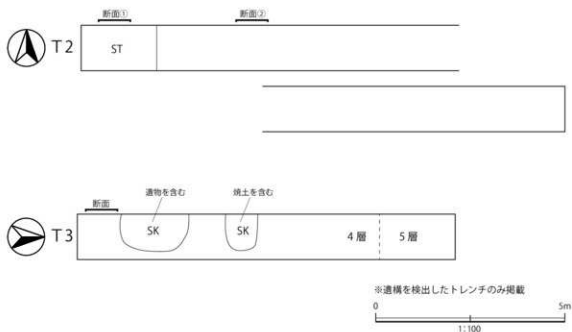
T4 (cm)	
1	1.表土
2	10 2.暗褐色シルト、礫を含む
3	17 3.黄褐色砂
4	40 4.黄褐色シルト
5	55 5.黄褐色砂
	*深掘箇所 -1.8m 底面は青灰色粘土、5層との間には砂礫層

成生工区遺跡可能性地3 土層図

- 82 -



II 調査の概要



成生工区遺跡可能性地4 遺構検出平面図

T1 (cm)

1	-10	1.表土
2	-26	2.暗褐色シルト、礫を少量含む
3	-48	3.黒褐色シルトに暗褐色シルトが混じる、 遺物を少量含む
4	-58	4.黒褐色シルトと灰黄色シルト・礫が混じる
5		5.灰黄色砂礫

* 深掘箇所 - 2.0mまで砂礫層

T2① (cm)

1	8	1.表土
2	-32	2.暗褐色シルト
3	-54	3.暗褐色シルト、2層より締り強い
4		4.黒褐色シルト(遺構覆土または遺物包含層)

T2② (cm)

1	-13	1.表土
2	-33	2.暗褐色シルト
3	-47	3.暗褐色シルト、2層より締り強い
4	-55	4.暗褐色シルト黒褐色シルトとが混じる、 遺物含む
5	-73	5.黒褐色シルト(遺構覆土または遺物包含層)、礫が混じる
6		6.黄褐色シルト

T3 (cm)

1	-10	1.表土
2	-24	2.暗褐色シルト、小礫を含む
3	-28	3.暗褐色シルトと黒褐色シルトが混じる
4	-40	4.黒褐色シルト、遺物含む
5		5.黄褐色シルト(遺構確認面)

T4 (cm)

1	-10	1.表土
2	-30	2.暗褐色シルト、礫を少量含む
3	-55	3.暗褐色シルトに黒褐色シルト混じる、 礫・遺物含む
4		4.暗褐色シルトに礫が混じる (遺構確認面)

成生工区遺跡可能性地4 土層図



遺跡可能性地3 T1全景(東から)



遺跡可能性地3 T1土層断面(北から)



遺跡可能性地3 T2全景(東から)



遺跡可能性地3 T2土層断面(北から)



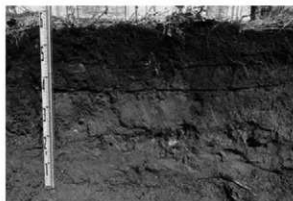
遺跡可能性地3 T3全景(南西から)



遺跡可能性地3 T3土層断面(南から)



遺跡可能性地3 T4全景(東から)



遺跡可能性地3 T4土層断面(北から)

II 調査の概要



遺跡可能性地4 T1全景(東から)



遺跡可能性地4 T1土層断面(北から)



遺跡可能性地4 T2全景(西から)



遺跡可能性地4 T2土層断面①(南から)



遺跡可能性地4 T3全景(北から)



遺跡可能性地4 T3土層断面(西から)



遺跡可能性地4 T3土坑検出状況(北西から)



遺跡可能性地4 T3遺物出土状況



遺跡可能性地4 T4全景(南から)



遺跡可能性地4 T4土層断面(西から)



遺跡可能性地4 T4南側遺構検出状況(北東から)



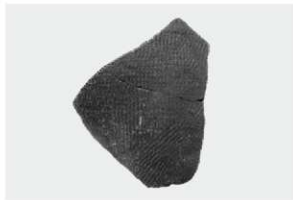
遺跡可能性地4 T4遺物出土状況



遺跡可能性地4 T2出土遺物



遺跡可能性地4 T2出土遺物



遺跡可能性地4 T3出土遺物



遺跡可能性地4 T3出土遺物

(12) 明沢川発電所遺跡可能性地

所在地	山形県小国町綱木箱口
調査員	竹田純子 稲村圭一 岩崎恒平
調査期日	令和5年5月11日
起因事業	明沢川発電所
遺跡立地	標高：約230m、立地：河岸段丘、地目：山林
試掘区	事業予定地に7箇所の試掘トレンチを設定した。
試掘方法	人力で試掘調査を実施。
試掘面積	7.0㎡
検出遺構	なし
出土遺物	なし
時代	—

所見 事業地は明沢川兩岸の河岸段丘上に位置する。令和元年度に実施した踏査において、工事用道路設置予定箇所のうち明沢川左岸の河岸段丘上に平坦な地形を確認した。当該範囲に遺跡が所在する可能性があることから、周辺を「遺跡可能性地」として試掘調査を実施したもの。

なお、工事用道路は発電所建設工事終了後に町道となることから、調査は小国町教育委員会と共同で実施した。

試掘対象地内への重機の侵入路がないことから、調査は手掘りにより実施した。トレンチを7箇所設定して調査を行った結果、全てのトレンチで遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。

T1 (cm)

1	-15	1.表土
2	-40	2.黒褐色シルト、植物根を多量に含む、 φ～10cmの礫を含む
3		3.にぶい黄褐色シルト、黒褐色シルト・ φ～5cmの礫を含む

T2 (cm)

1	-15	1.表土
2	-50	2.黒褐色シルト、植物根を多量に含む
3		3.にぶい黄褐色シルト、黒褐色シルト・ φ～3cmの礫を含む

T3 (cm)

1	-15	1.表土
2	-40	2.黒褐色シルト、植物根を多量に含む、 φ～10cmの礫を含む
3		3.にぶい黄褐色シルト、黒褐色シルト・ φ～5cmの礫を含む

T4 (cm)

1	-15	1.表土
2	-20	2.黒褐色シルト、植物根を多量に含む、 φ～3cmの礫を含む
3		3.にぶい黄褐色シルト、黒褐色シルト・ φ～3cmの礫を含む

T5 (cm)

1	-15	1.表土
2	-50	2.黒褐色シルト、植物根を多量に含む、 φ～5cmの礫を含む
3		3.にぶい黄褐色シルト、黒褐色シルト・ φ～3cmの礫を含む

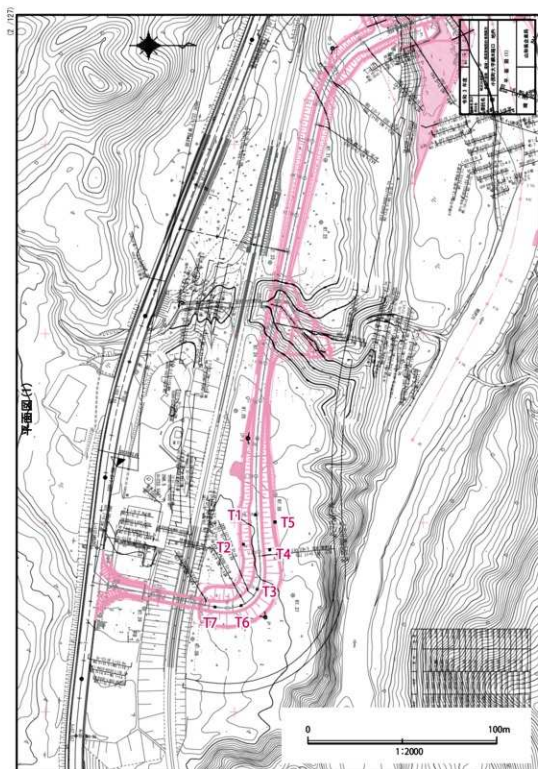
T6 (cm)

1	-15	1.表土
2	-40	2.黒褐色シルト、植物根を多量に含む
3		3.にぶい黄褐色シルト、黒褐色シルト・ φ～5cmの礫を含む

T7 (cm)

1	-15	1.表土
2	-40	2.黒褐色シルト、植物根を多量に含む、 φ～5cmの礫を含む
3		3.にぶい黄褐色シルト、黒褐色シルト・ φ～3cmの礫を含む

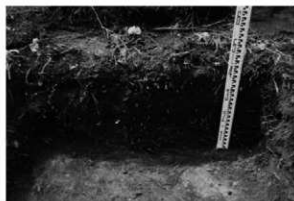
明沢川発電所遺跡可能性地 土層図



明沢川発電所遺跡可能性地 トレンチ配置図



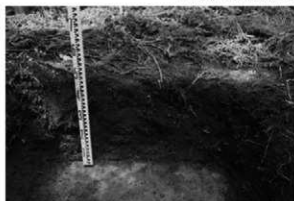
T 1 全景 (東から)



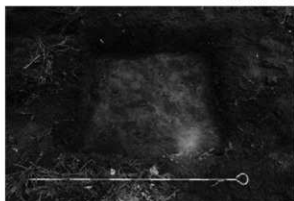
T 1 土層断面 (北から)



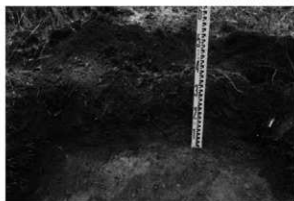
T 3 全景 (東から)



T 3 土層断面 (東から)



T 4 全景 (東から)



T 4 土層断面 (南から)



T 7 全景 (北から)



T 7 土層断面 (北から)

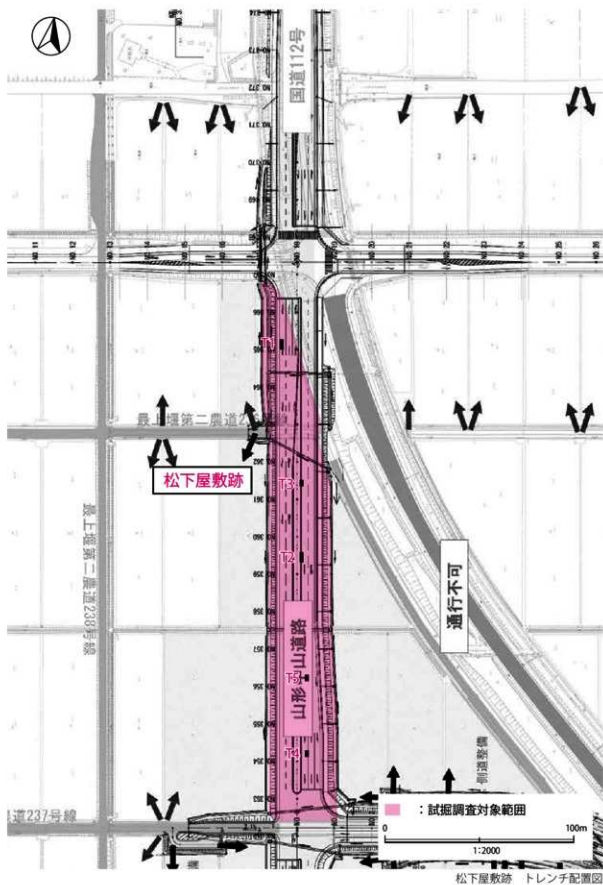
(13) 松下屋敷跡、一般国道 112 号山形中山道路遺跡可能性地 1・2

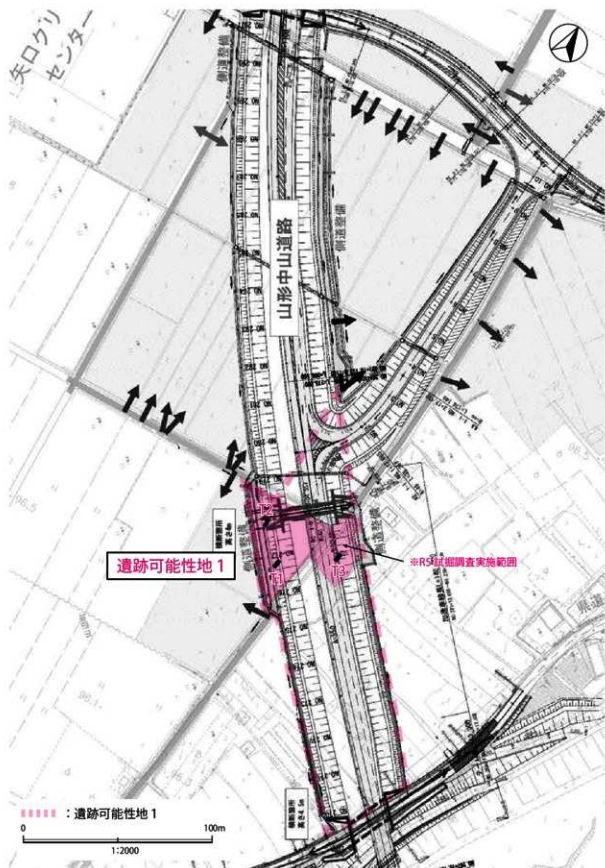
所在地	山形県中山町達磨寺、山辺町山辺
調査員	竹田純子 岩崎恒平
調査期日	令和 5 年 4 月 7 日、12 日
起回事業	一般国道 112 号山形中山道路
遺跡立地	標高：約 94 ～ 96 m、立地：氾濫平野、自然堤防、地目：田
試掘区	事業予定地に 13 箇所の試掘トレンチを設定した。
試掘方法	重機及び人力で試掘調査を実施。
試掘面積	87.0m ²
検出遺構	なし
出土遺物	なし
時代	中世

所見 事業地は須川左岸の谷底平野及び自然堤防上に位置する。令和 3 年度に実施した踏査において、事業地内に「松下屋敷跡」の範囲が含まれることが確認された。また、須川左岸の自然堤防上の畑地（事業地隣接地）において古代の遺物を採取し、同地形上に位置する事業地内に遺跡が存在する可能性があることから、周辺を「遺跡可能性地 1」とした。併せて、中山町内の事業地において微高地上の地形を確認し、付近から古代の遺物を採取したことから、当該地を「遺跡可能性地 2」とした。

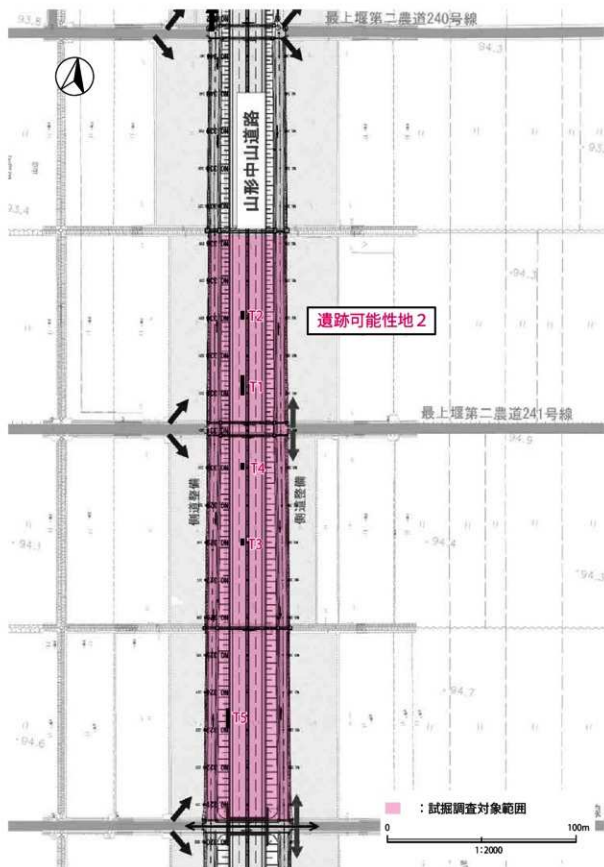
松下屋敷跡及び隣接地においてトレンチを 5 箇所設定して調査を行った結果、全てのトレンチで低地の様相を呈しており、松下屋敷跡に関連する遺構・遺物は確認されなかった。遺跡可能性地 1 のうち用地取得が完了した一部の範囲について、トレンチを 3 箇所設定して調査を行った結果、全てのトレンチにおいて遺構・遺物は確認されなかった。全てのトレンチにおいて、表土以下には泥炭を含む粘土層が厚く堆積している状況が確認された。遺跡可能性地 1 のうち、試掘調査未実施の範囲については、用地取得後に別途、試掘調査を実施する。

遺跡可能性地 2 においてトレンチを 5 箇所を設定して調査を行った結果、全てのトレンチにおいて遺構・遺物は確認されなかった。トレンチ 1 ～ 4 は低地の様相を呈し、遺構・遺物は確認されなかった。トレンチ 5 は微高地と低地の境界にあたるが、遺構・遺物は確認されなかった。





一般国道 112 号山形中山道路遺跡可能性地 1 トレンチ配置図



一般国道112号山形中山道路遺跡可能性地2 トレンチ配置図

T1 (cm)

1	-20	1.耕作土
2	-40	2.褐色シルト、酸化鉄を含む
3	-90	3.黒色泥炭層
4	-130	4.灰色粘土、未分解の有機物を含む

T2 (cm)

1	-15	1.耕作土
2	-30	2.褐色シルト、酸化鉄を含む
3	-80	3.黒色泥炭層
4	-140	4.灰色粘土、未分解の有機物を含む
5	-150	5.灰色砂質シルト、未分解の有機物を含む

T3 (cm)

1	-15	1.耕作土
2	-30	2.褐色シルト、酸化鉄を含む
3	-80	3.黒色泥炭層
4	-130	4.灰色粘土、未分解の有機物を含む
5	-150	5.灰色砂質シルト、未分解の有機物を含む

T4 (cm)

1	-15	1.耕作土
2	-30	2.褐色シルト、酸化鉄を含む
3	-50	3.灰色粘
4	-70	4.にぶい褐色粘土、酸化鉄を含む
5	-90	5.黒色泥炭層
6	-170	6.灰色粘土、未分解の有機物を含む
7	-190	7.灰白色粘土、砂・未分解の有機物を含む

T5 (cm)

1	-15	1.耕作土
2	-30	2.褐色シルト、酸化鉄を含む
3	-50	3.灰色粘
4	-70	4.にぶい褐色粘土、酸化鉄を含む
5	-90	5.黒色泥炭層
6	-170	6.灰色粘土、未分解の有機物を含む
7	-180	7.灰白色粘土、砂・未分解の有機物を含む

松下屋敷跡 土層図

T1 (cm)

1	-15	1.耕作土
2	-30	2.褐色シルト、酸化鉄を含む
3	-90	3.にぶい黄褐色シルト
4	-140	4.黒色粘土
5	-170	5.灰色粘土
6	-230	6.黒色粘土、未分解の有機物を含む
7		7.灰色粘土、未分解の有機物を含む

T3 (cm)

1	-30	1.表土
2	-80	2.にぶい黄褐色シルト、酸化鉄を含む
3	-110	3.黒褐色粘土
4	-170	4.灰色粘土
5	-200	5.黒色粘土、未分解の有機物を含む
6	-230	6.灰色粘土、未分解の有機物を含む

T2 (cm)

1	-15	1.耕作土
2	-30	2.褐色シルト、酸化鉄を含む
3	-80	3.灰色粘
4	-110	4.にぶい褐色粘土、酸化鉄を含む
5	-140	5.黒色泥炭層
6	-190	6.灰色粘土、未分解の有機物を含む
7	-240	7.灰白色粘土、砂・未分解の有機物を含む

一般国道 112 号山形中山道路遺跡可能性地 1 土層図

II 調査の概要

T1 (cm)

1	-15	1.耕作土
2	-30	2.褐色シルト、酸化鉄を含む
3	-60	3.青灰色シルト、酸化鉄を含む
4	-130	4.灰色粘土、砂・未分解の有機物を含む

T2 (cm)

1	-15	1.耕作土
2	-30	2.褐色シルト、酸化鉄を含む
3	-40	3.黒褐色粘土
4	-130	4.灰色粘土、砂・未分解の有機物を含む

T3 (cm)

1	-15	1.耕作土
2	-20	2.褐色シルト、酸化鉄を含む
3	-50	3.黒褐色粘土
4	-70	4.にぶい黄褐色シルト、酸化鉄を多く含む
5	-70	5.灰色粘土、未分解の有機物を含む
6	-160	6.青灰色砂質シルト、未分解の有機物を含む

T4 (cm)

1	-15	1.表土
2	-40	2.褐色シルト、酸化鉄を含む
3	-55	3.にぶい黄褐色シルト、酸化鉄を多く含む
4	-130	4.灰色粘土、未分解の有機物を含む
5	-140	5.青灰色砂質シルト、未分解の有機物を含む

T5 (cm)

1	-15	1.耕作土
2	-30	2.灰色粘質シルト、酸化鉄を含む
3	-30	3.にぶい黄褐色シルト、酸化鉄を含む

一般国道 112 号山形中山道路遺跡可能性地 2 土層図



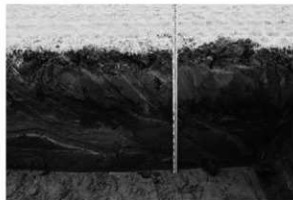
松下屋敷跡 T1 全景 (北から)



松下屋敷跡 T1 土層断面 (東から)



松下屋敷跡 T2 全景 (南から)



松下屋敷跡 T2 土層断面 (西から)



松下屋敷跡 T 4 全景 (南から)



松下屋敷跡 T 4 土層断面 (西から)



遺跡可能性地 1 T 1 全景 (南から)



遺跡可能性地 1 T 1 土層断面 (東から)



遺跡可能性地 2 T 2 全景 (北から)



遺跡可能性地 2 T 2 土層断面 (西から)



遺跡可能性地 2 T 5 全景 (南西から)



遺跡可能性地 2 T 5 土層断面 (北東から)

(14) 一般国道 13 号金山道路遺跡可能性地 1

所在地 山形県金山町朴山

調査員 竹田純子 岩崎恒平

調査期日 令和 5 年 6 月 9 日

起因事業 一般国道 13 号金山道路

遺跡立地 標高：約 161 m、立地：氾濫平野、地目：林

試掘区 事業予定地に 2 箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 30.0㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 —

所見 遺跡可能性地は、令和元年 10 月に実施した踏査において確認されたもので、国道 344 号線の北側の畑（金山道路の起点）で土師器の小片を採取したことから、畑と畑の北側に隣接する杉林を「遺跡可能性地 1」とし、令和 3 年度から試掘調査を実施しているもの。業地内にトレンチ 2 箇所を設定して調査を行った。なお、トレンチ番号は令和 3 年度のトレンチに続き、トレンチ 4・5 とした。

調査の結果、トレンチ 4 では河川堆積による砂礫層が確認された。トレンチ 5 では比較的安定した土層が確認されたが、遺構・遺物は確認されなかった。当地に遺跡は所在しないものと判断された。

T4	(cm)	
1	-15	1.表土
2	-30	2.黒色シルト、φ～5cmの礫、植物根を多量に含む
3	-90	3.黒褐色シルト、φ～5cmの礫を多量に含む
4		4.明黄褐色砂礫層

T5	(cm)	
1	-30	1.表土
2	-80	2.黒色シルト、明黄褐色シルトを含む、植物根を多量に含む
3		3.明黄褐色シルト、黒色シルトを含む

一般国道 13 号金山道路遺跡可能性地 1 土層図



T4 全景 (東から)



T4 土層断面 (北から)



一般国道13号金山道路遺跡可能性地1 トレンチ配置図



T5全景(東から)



T5土層断面(北から)

(15) 一般国道 13 号真室川雄勝道路遺跡可能性地 1

所在地 山形県真室川町及位

調査員 竹田純子 岩崎恒平

調査期日 令和 5 年 6 月 28 日

起因事業 一般国道 13 号 真室川雄勝道路

遺跡立地 標高：約 294 ～ 300 m、立地：河岸段丘、地目：山林・雑林地

試掘区 事業予定地に 2 箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 22.4㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 —

所見 遺跡可能性地は、令和元年 10 月に実施した踏査において確認されたもので、JR 奥羽本線及駅前から東に約 300 m、朴木沢川左岸の河岸段丘上に位置する。

令和 2 年度に遺跡可能性地のうち町道朴木沢・雄勝線の西側について試掘調査を実施している。今回は、同町道の東側の一部の範囲について試掘調査を実施した。

遺跡可能性地にトレンチ 2 箇所を設定して調査を行った。なお、トレンチ番号は令和 2 年度のトレンチに続きトレンチ 7・8 とした。

調査の結果、両トレンチとも遺構・遺物は確認されなかった。基盤層には巨礫が含まれる状況が確認された。今回の調査範囲の南北両側の箇所は、試掘調査未実施であるが、調査の結果、遺跡が存在する可能性は低いことから、今後の試掘調査は不要と判断した。

T7 (cm)

1	-20
2	-30

1. 黒褐色シルト、植物根を多く含む（表土）
2. 明黄褐色シルト、黒褐色シルト・巨礫を含む（地山）

T8 (cm)

1	-25
2	-30

1. 黒褐色シルト、植物根を多く含む（表土）
2. 明黄褐色シルト、黒褐色シルト・巨礫を含む（地山）

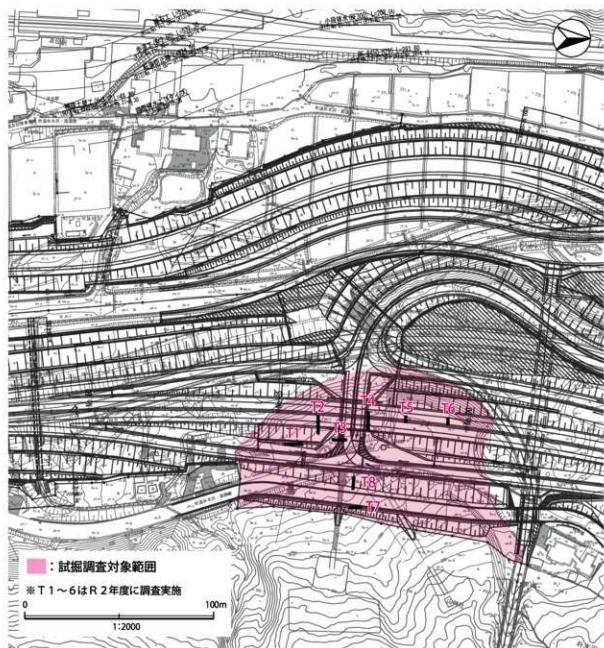


T7 全景（北から）



T7 土層断面（南から）

一般国道 13 号 真室川雄勝道路遺跡可能性地 1 土層図



一般国道 13 号 真室川雄勝道路遺跡可能性地 1 トレンチ配置図



T8 全景 (東から)



T8 土層断面 (北から)

(16) 一般国道 113 号小国道路遺跡可能性地 1

所在地 山形県小国町増岡

調査員 竹田純子 高橋敏

調査期日 令和 5 年 11 月 30 日

起因事業 一般国道 113 号小国道路

遺跡立地 標高：約 137 m、立地：谷底平野・氾濫原、自然堤防、地目：田

試掘区 事業予定地に 3 箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 22.5㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 —

所見 事業地は横川右岸の谷底平野・氾濫原及び自然堤防上に位置する。令和 3 年度に実施した踏査において、近接する大宮遺跡（縄文・平安時代）の周辺 3 箇所において遺物の散布が確認され、大宮遺跡の範囲が広がる可能性も考えられることから、周辺一帯を「遺跡可能性地 1」とし、遺跡の有無を確認するための試掘調査を実施したもの。今年度は、令和 4 年度に未買収地であった範囲について、買収完了後に調査を実施した。トレンチの番号は、前年度に引き続きトレンチ 8～10 とした。

調査の結果、全てのトレンチにおいて遺構・遺物は確認されなかった。調査範囲全体にわたって、表土以下には一部泥炭を含む粘土層が厚く堆積している状況が確認された。以上の状況から、遺跡可能性地 1 とした範囲に遺跡は所在しないものと判断された。

T8 (cm)

1	1.表土
2	20 2.褐灰色粘土
3	40 3.灰色粘土
4	55 4.灰白色粘土
.....	70

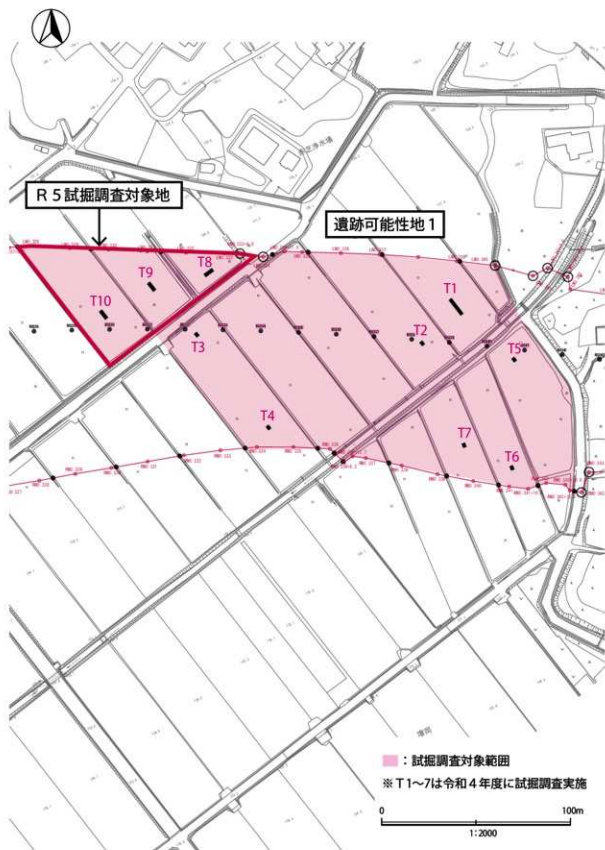
T9 (cm)

1	1.表土
2	30 2.褐灰色粘質シルト
3	90 3.青灰色粘土
.....	120

T10 (cm)

1	1.表土
2	20 2.褐灰色粘土
3	40 3.青灰白色粘土
.....	120

一般国道 113 号小国道路遺跡可能性地 1 土層図



一般国道 113 号小国道路遺跡可能性地 1 トレンチ配置図

II 調査の概要



T 8 全景 (南西から)



T 8 土層断面 (北西から)



T 9 全景 (南東から)



T 9 土層断面 (北東から)



T 10 全景 (南東から)



T 10 土層断面 (南西から)

(17) 物見峠^{ものみとうげ}B 遺跡、林之内^{はやしのうち}遺跡

所在地 山形県遊佐町吹浦

調査員 竹田純子 稲村圭一

調査期日 令和5年10月26日

起因事業 一般国道7号遊佐象潟道路

遺跡立地 標高：約38m、立地：火山地形、地目：山林

試掘区 物見峠B遺跡にトレンチ4箇所、林之内遺跡にトレンチ2箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 物見峠B遺跡：40㎡、林之内遺跡：16㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 物見峠B遺跡：縄文時代、平安時代

林之内遺跡：平安時代、鎌倉時代

所見 当該地は国道7号線の西側、烏海山山麓の南西端に位置する。試掘対象範囲は杉林となっていたため、伐採後に調査を実施した。

事業地のうち、物見峠B遺跡の範囲にトレンチ4箇所を設定して調査を行った結果、すべてのトレンチにおいて遺構・遺物は確認されなかった。また、林之内遺跡の範囲に2箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、すべてのトレンチにおいて遺構・遺物は確認されなかった。

T1 (cm)	
1	-20 1.表土
2	-40 2.褐灰色シルト、植物根を含む
3	-55 3.にぶい黄褐色シルト

T3 (cm)	
1	-10 1.表土
2	-50 2.褐灰色シルト、礫・植物根を含む
3	-50 3.にぶい黄褐色シルト

T2 (cm)	
1	-8 1.表土
2	-16 2.褐灰色シルト、植物根を含む
3	-30 3.明黄褐色シルト、礫を含む

T4 (cm)	
1	-15 1.表土
2	-28 2.褐灰色シルト、植物根を含む
3	-38 3.明黄褐色シルト

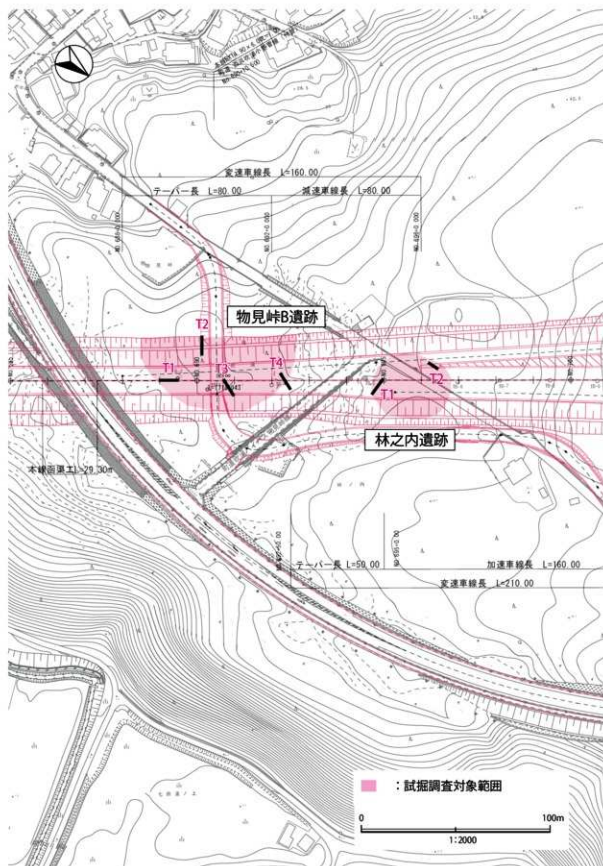
物見峠B遺跡 土層図

T1 (cm)	
1	-10 1.表土
2	-55 2.褐灰色シルト、植物根を多く含む
3	-65 3.にぶい黄褐色シルト

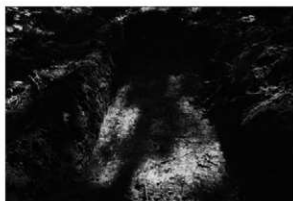
T2 (cm)	
1	-20 1.表土
2	-60 2.褐灰色シルト、礫・植物根を含む
3	-100 3.黒褐色シルト、礫・植物根を含む
4	-100 4.にぶい黄褐色シルト

林之内遺跡 土層図

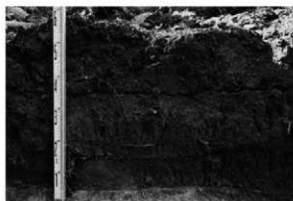
II 調査の概要



物見峠 B 遺跡、林之内遺跡 トレンチ配置図



物見峠B遺跡 T 1 全景 (北から)



物見峠B遺跡 T 1 土層断面 (南東から)



物見峠B遺跡 T 2 全景 (北東から)



物見峠B遺跡 T 2 土層断面 (北西から)



物見峠B遺跡 T 3 全景 (南から)



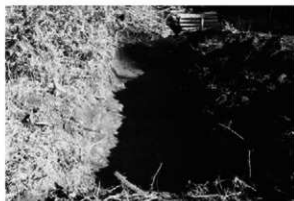
物見峠B遺跡 T 3 土層断面 (東から)



物見峠B遺跡 T 4 全景 (南から)



物見峠B遺跡 T 4 土層断面 (東から)



林之内遺跡 T1 全景 (西から)



林之内遺跡 T1 土層断面 (南から)



林之内遺跡 T2 全景 (南から)



林之内遺跡 T2 土層断面 (北東から)

(18) 一般国道7号遊佐象潟道路遺跡可能性地1

所在地 山形県遊佐町吹浦

調査員 竹田純子 稲村圭一

調査期日 令和5年11月2日

起回事業 一般国道7号遊佐象潟道路

遺跡立地 標高：75 m、立地：火山地形、地目：山林

試掘区 事業予定地に6箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 57.6㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 ー

所見 試掘対象地は、一般国道7号と鳥海ブルーラインとの合流点付近南側の山林に位置する。平成29年に実施した踏査において、国指定史跡「鳥海山」の北側に比較的平坦な地形が確認され、史跡に関連する遺跡が所在する可能性があることから、周辺を「遺跡可能性地1」として遺跡の有無を確認するための調査を実施したもの。なお、試掘対象範囲は杉林となっていたため、伐採後に調査を実施した。

試掘調査区にトレンチを6箇所設定し、遺構・遺物の有無を精査した結果、全てのトレンチにおいて遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。

T1 (cm)

1	-15	1.表土
2	-32	2.褐灰色シルト、植物根を含む
3	-40	3.にぶい黄褐色シルト

T4 (cm)

1	-20	1.表土
2	-60	2.灰黄褐色シルト、植物根を多く含む
3		3.明黄褐色シルト

T2 (cm)

1	-15	1.表土
2		2.明黄褐色シルト

T5 (cm)

1	-20	1.表土
2		2.明黄褐色シルト

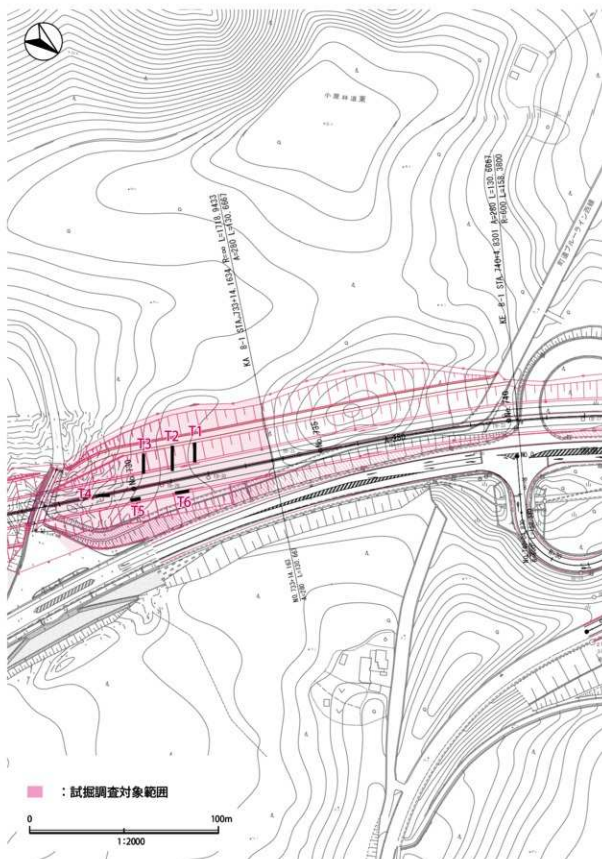
T3 (cm)

1	-20	1.表土
2	-40	2.灰黄褐色シルト、植物根を含む
3	-55	3.にぶい黄褐色シルト、黒色シルト・植物根を含む
4	-80	4.黒色シルト、植物根を含む
5	-90	5.黒褐色シルト、にぶい黄褐色シルトを含む
6		6.明黄褐色シルト

T6 (cm)

1	-20	1.表土
2		2.明黄褐色シルト

一般国道7号遊佐象潟道路遺跡可能性地1 土層図



一般国道7号遊佐象海道路遺跡可能性地1 トレンチ配置図



T 1全景 (南西から)



T 1土層断面 (東から)



T 2全景 (南西から)



T 2土層断面 (南東から)



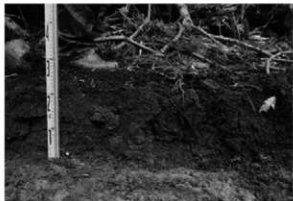
T 4全景 (南から)



T 4土層断面 (東から)



T 6全景 (南から)



T 6土層断面 (西から)

(19) 最上川直轄河川大規模災害関連事業遺跡可能性地

所在地	山形県大石田町横山
調査員	竹田純子 稲村圭一 岩崎恒平
調査期日	令和5年9月6日、12日
起因事業	最上川直轄河川大規模災害関連事業（最上川中流）
遺跡立地	標高：64 m、立地：氾濫平野、地目：宅地
試掘区	事業予定地に3箇所の試掘トレンチを設定した。
試掘方法	重機及び人力で試掘調査を実施。
試掘面積	13.0㎡
検出遺構	なし
出土遺物	なし
時代	—

所見 事業地は、最上川左岸の氾濫平野上である。事業地内に周知の埋蔵文化財包蔵地は所在しないが、横山小学校前遺跡（No.341-023）が隣接する。

江戸時代、横山地区は新庄藩の領地であり、明治5年に廃藩となり山形県に移管されるまで、事業地内には新庄藩横山陣屋や手代長屋が存在していた。これらの他にも最上川舟運に係る遺跡や、中世以前の遺跡が存在する可能性があることから、事業地一帯を遺跡可能性地として試掘調査を実施したものである。

今回の調査は、横山陣屋が位置していたとされる、みちのく村山農業協同組合横山準低温倉庫のすぐ西側の地点と、事業地西端の2箇所で行った。

調査の結果、すべてのトレンチにおいて遺構・遺物は確認されなかった。トレンチ1では地表下約40cmで近世以降の遺構確認面と考えられる比較的安定した土層を確認したが、遺構・遺物は確認されなかった。近隣住民への聞き取りによれば、当該地には駐在所が建っていたと、建物基礎の影響と考えられる攪乱が確認された。

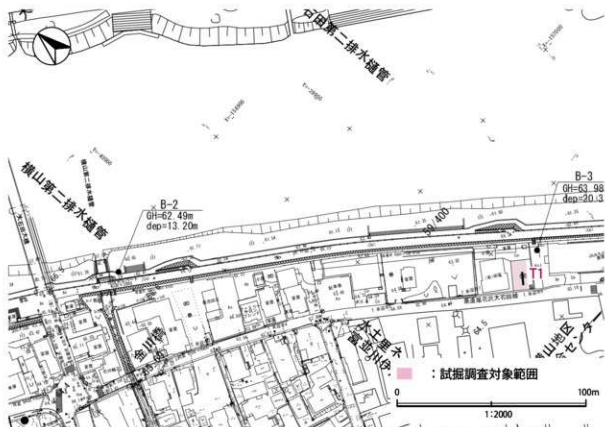
事業地西端のトレンチ2・3では、現在の堤防整備時の影響によるものと考えられる盛土や河川堆積による砂層が厚く堆積している状況が確認され、遺構・遺物は確認されなかった。今回の試掘結果を基に、今後の試掘計画を検討することとした。

T1	(cm)	
1	-15	1.表土
2	-30	2.暗褐色砂質土、礫を含む（造成土）
3	-40	3.黒褐色砂質土、白色鉱物を少量含む
4	-40	4.にぶい黄褐色砂、黒褐色砂を含む
4	-60	5.黒褐色砂質土
5	-75	6.にぶい黄褐色砂
6	-110	7.黒色砂質土
7	-125	8.にぶい黄褐色砂
8	-175	

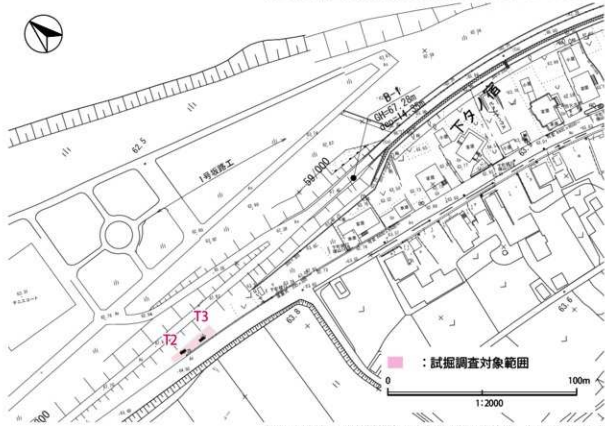
T2	(cm)	
1	-15	1.表土
2	-30	2.灰黄褐色シルト、礫・ゴミを含む（盛土）
3	-90	3.黒褐色シルト、灰黄褐色シルト・
4	-215	4.にぶい黄褐色砂

T3	(cm)	
1	-20	1.表土
2	-60	2.灰黄褐色砂質土
3	-260	3.にぶい黄褐色砂

最上川直轄河川大規模災害関連事業遺跡可能性地 土層図



最上川直轄河川大規模災害関連事業遺跡可能性地 トレンチ配置図

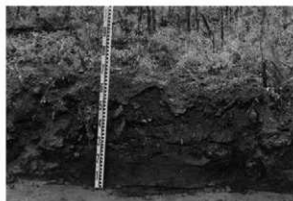


最上川直轄河川大規模災害関連事業遺跡可能性地 トレンチ配置図

II 調査の概要



T 1 全景 (南西から)



T 1 土層断面 (南東から)



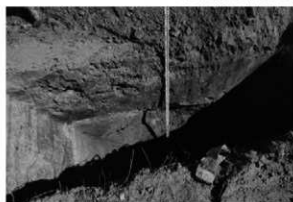
T 1 深掘り箇所土層断面 (北西から)



T 2・3 試掘対象地 (西から)



T 2 全景 (西から)



T 2 土層断面 (南から)



T 3 全景 (東から)



T 3 土層断面 (南から)

3 工事立会の概要

(1) 天王遺跡^{てんのう}

所在地 山形県南陽市漆山

調査員 竹田純子 稲村圭一 岩崎恒平

調査期日 令和5年7月21日、27日、9月22日、令和6年2月19～22日

起回事業 農地整備事業（経営体育成型）漆山地区

遺跡立地 標高：約220～223m、立地：自然堤防、沖積地（扇状地）、地目：田・畑

調査区 事業予定地内の排水路工及び管用水路工に係る掘削範囲を調査対象とした。

調査方法 重機で遺構検出面まで掘り下げた後、人力で面整理を行った。その後、検出した遺構の精査及び記録作業を実施した。

調査面積 約270㎡

検出遺構 土坑、ピット

出土遺物 ー

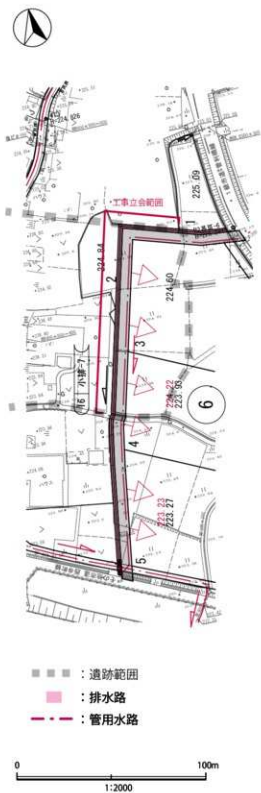
時代 奈良・平安時代

所見 工事内容は、面工事に先行して行われる排水路工及び管用水路工で、事業地は天王遺跡の範囲に該当する。立会いは約135mの区間について行った。

排水路工は掘削幅約80cm、深さは水田の耕作土除去後から約40～60cmであった。排水路工にかかる掘削深は遺構確認面と同程度の深さであった。掘削完了後に、人力で精査して遺構の有無を確認したところ、立会範囲南北ラインの南側を中心に、柱穴や土坑等を複数基確認した。遺物は出土しなかったが、遺構の形状等から天王遺跡に伴う遺構と判断された。

今回の排水路工では、遺構確認面以下への掘削が及ばないため、平面図・写真等の記録作業に留め、記録作業完了後に着工を許可した。

管用水路工は、排水路工施工箇所から東に約5m程度離れた箇所に敷設されるもので、掘削幅約1m、深さは1m以上で遺構検出面以下までの掘削となるため、先行して全面的に遺構検出面までの掘り下げを行い、遺構の有無を確認した。その結果、ピット6基を確認した。掘削が遺構面以下に及ぶため、記録保存の調査を行った。ピットの直径はいずれも20cm程度で、深さは10～15cmであった。遺物は出土しないため、詳細な時期は不明であるが、隣接する排水路工の状況から、同様に天王遺跡に伴う遺構と考えられる。



天王遺跡 工事立会範囲



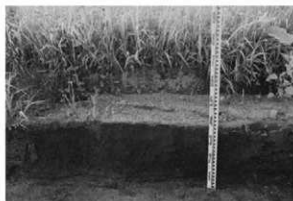
排水路工全景 (南北) (南から)



排水路工全景 (東西) (西から)

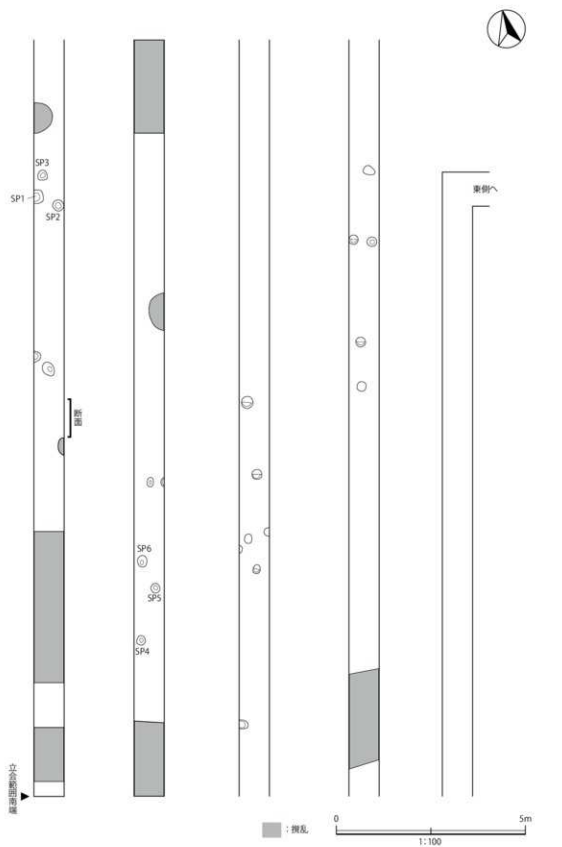


排水路工 土層断面① (東から)



排水路工 土層断面② (東から)

II 調査の概要



天王遺跡 管用水路工完掘平面図

土層断面①

1	(cm)	1.暗褐色シルト (旧耕作土)
2	15	2.灰黄褐色シルト
3	25	3.黒褐色シルト、砂を含む
4	50	4.にぶい黄褐色砂 (地山)

土層断面③

1	(cm)	1.暗褐色シルト (旧耕作土)
2	15	2.灰黄褐色シルト
3	25	3.黒褐色シルト、砂を含む
4	75	4.にぶい黄褐色砂、細礫を含む (地山)

土層断面②

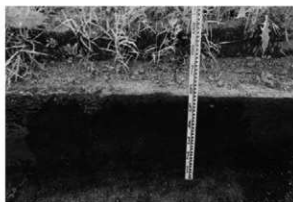
1	(cm)	1.暗褐色シルト (旧耕作土)
2	15	2.灰黄褐色シルト
3	25	3.黒褐色シルト、砂を含む
4	65	4.にぶい黄褐色砂質シルト (地山)

天王遺跡 排水路工 土層図

土層断面

1	(cm)	1.暗褐色シルト (旧耕作土)
2	10	2.灰黄褐色シルト
3	15	3.黒褐色シルト、砂を含む
4	30	4.にぶい黄褐色砂 (地山)
	45	

天王遺跡 管水路工 土層図



排水路工 土層断面③ (南東から)



排水路工 南側遺構検出状況 (南から)



排水路工 南側遺構検出状況 (南から)



排水路工 中央部土坑検出状況 (東から)

II 調査の概要



排水路工 中央部遺構検出状況 (南から)



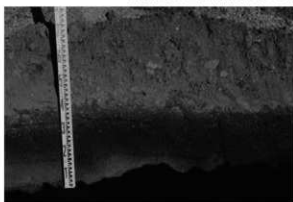
排水路工 土坑・溝状遺構検出状況 (東から)



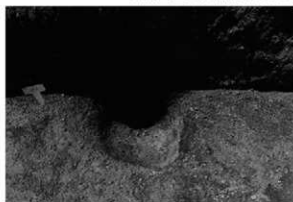
管用水路工全景 (南北) (南から)



管用水路工全景 (東西) (西から)



管用水路工 土層断面 (西から)



管用水路工 SP1 土層断面及び完掘状況 (東から)



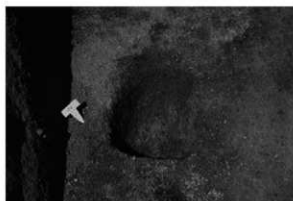
管用水路工 SP2 土層断面 (北から)



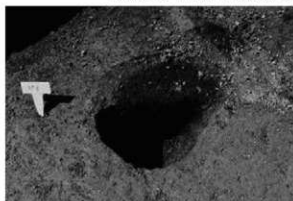
管用水路工 SP2 完掘状況 (北から)



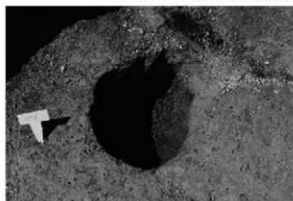
管用水路工 SP3 土層断面 (北から)



管用水路工 SP3 完掘状況 (北から)



管用水路工 SP4 土層断面 (南から)



管用水路工 SP4 完掘状況 (南から)



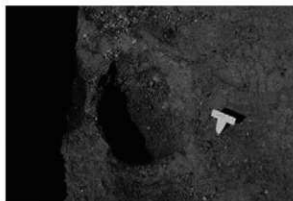
管用水路工 SP5 土層断面 (北から)



管用水路工 SP5 完掘状況 (北から)



管用水路工 SP6 土層断面 (北から)



管用水路工 SP6 完掘状況 (北から)

4 記録保存調査の概要

(1) 若木館跡

所在地 山形県山形市若木

調査員 竹田純子 稲村圭一 岩崎恒平

調査期日 令和6年3月7日

起因事業 若木土砂災害対策事業

遺跡立地 標高：約153～160m、立地：山地、地目：畑、山林

調査区

調査方法 人力で面整理を行った後、検出した遺構の精査及び記録作業を実施した。

調査面積 約47.5㎡

検出遺構 曲輪

出土遺物 なし

時代 中世

所見 令和6年2月、若木館跡内の土地利用者が作業道造成のために、遺跡内の平場等を重機で掘削したことが判明した。個人による掘削行為であるが、若木土砂災害対策事業に係り令和6年度に実施する発掘調査について地元と調整している最中のことであり、土砂災害対策事業に起因した行為であることが想定されたため、山形市文化財主管課と調整した後に、大きく掘削された2箇所について県が記録保存調査を実施することとした。また、令和6年度に実施する発掘調査範囲に含まれる掘削箇所については、発掘調査の際に（公財）山形県埋蔵文化財センターが記録することとした。

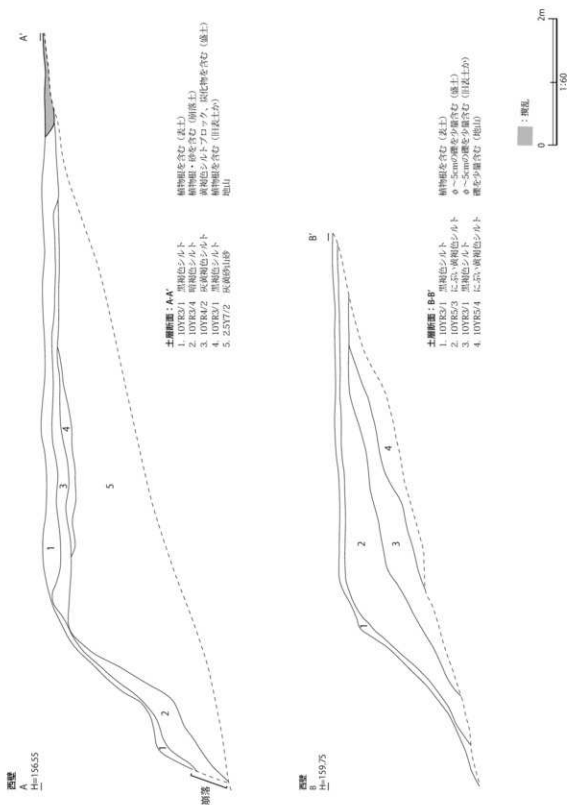
掘削された平場2箇所について、人力で面整理した後に掘削断面を精査し、土層を記録した。A-A'断面では、地山層を削平して平場が造成されていることを確認した。B-B'断面では、傾斜する地山層の上に盛土して平場が造成されており、旧表土の上に盛土されていることから、現代になって畑のために造成された平場である可能性が高い。



若木館跡 記録保存調査対象範囲



若木館跡 記録保存調査対象範囲等高線図



若木館跡 土層図



曲輪 A-A' 調査前状況 (北から)



曲輪 A-A' 精査完了状況 (北から)



曲輪 A-A' 西壁土層断面 (北東から)



曲輪 A-A' 西壁土層断面 (南側) (東から)



曲輪 A-A' 西壁土層断面 (北側) (東から)



B-B' 調査前状況 (南から)



B-B' 西壁土層断面 (南東から)



B-B' 西壁土層断面 (東から)

第三章 遺跡の登録、修正と訂正、登録抹消

1 範囲修正、名称変更、位置訂正、登録抹消

令和5年度に範囲修正、名称変更、位置訂正及び登録抹消を行った遺跡は32件であり、いずれも市町村教育委員会及び山形県からの届出によるものである。内容は、範囲修正2件(表中1～2)、名称変更23件(3～25)、位置訂正5件(26～30)、登録抹消2件(31～32)である。詳細については、新規登録の遺跡と併せて、「令和5年度範囲修正・名称変更・位置訂正・登録抹消・新規登録遺跡一覧」として掲載した。

2 新規登録

令和5年度に新規登録された遺跡は5件あり(33～37)、いずれも市町村教育委員会及び山形県からの届出によるものである。

これにより、年度末までに登録されている遺跡は5,223件を数える事になった。

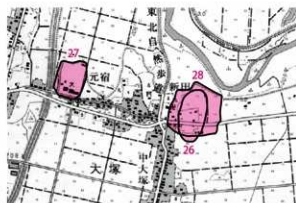
令和5年度範囲修正・名称変更・位置訂正・登録抹消・新規登録遺跡一覧

区分	No.	遺跡名 (番号)	所在地	種別	時期	通知文書他	届出者	地図名
範囲修正	1	大塚城跡 (382-175)	川西町	城館跡	中世	2023年10月18日博文第915号 山形県	山形県	羽前小松
	2	高松稲跡 (206-070)	寒河江市	城館跡	中世	2024年1月16日生学第491号 寒河江市教委	寒河江市	寒河江
名称変更	3	戸塚山堤入西塚群 (202-003)	米沢市	塚	中世	2023年10月13日教社文第432号 米沢市教委、「堤入東塚群」の 名称変更	米沢市	鶴野目
	4	戸塚山古墳群飯塚 北支群 (202-009)	米沢市	古墳	古墳時代(終末期)	2023年10月13日教社文第432号 米沢市教委、「飯塚北古墳群」 の名称変更	米沢市	鶴野目
	5	戸塚山古墳群堤入 B支群 (202-010)	米沢市	古墳	古墳時代(終末期)	2023年10月13日教社文第432号 米沢市教委、「上浅川堤入b古 墳群」の名称変更	米沢市	鶴野目
	6	戸塚山古墳群堤入 A支群 (202-012)	米沢市	古墳	古墳時代(終末期)	2023年10月13日教社文第432号 米沢市教委、「上浅川堤入a古 墳群」の名称変更	米沢市	鶴野目
	7	戸塚山堤入北塚群 (202-018)	米沢市	塚	中世	2023年10月13日教社文第432号 米沢市教委、「堤入西塚群」の 名称変更	米沢市	鶴野目
	8	戸塚山古墳群金ヶ 崎支群 (202-023)	米沢市	古墳	古墳時代(終末期))、中世	2023年10月13日教社文第432号 米沢市教委、「金ヶ崎古墳群」 の名称変更	米沢市	鶴野目
	9	戸塚山古墳群山崎 支群 (202-025)	米沢市	古墳	古墳時代(後期)	2023年10月13日教社文第432号 米沢市教委、「山崎古墳群」の 名称変更	米沢市	鶴野目

区分	No.	遺跡名 (番号)	所在地	種別	時期	通知文書他	届出者	地図名
名称変更	10	戸塚山古墳群小山A支群 (202-027)	米沢市	古墳	古墳時代	2023年10月13日教社文第432号米沢市教委、「小山塚跡」の名称変更	米沢市	鶴野目
	11	三合免館跡 (202-042)	米沢市	城館跡	中世	2023年10月13日教社文第432号米沢市教委、「三合免館跡」の名称変更	米沢市	鶴野目
	12	大増A遺跡 (202-289)	米沢市	集落跡	縄文時代(前期・中期・後期)	2023年10月13日教社文第432号米沢市教委、「大増A遺跡」の名称変更	米沢市	米沢
	13	大増C遺跡 (202-293)	米沢市	集落跡	縄文時代(前期・中期)	2023年10月13日教社文第432号米沢市教委、「大増C遺跡」の名称変更	米沢市	米沢
	14	小中沢遺跡 (202-303)	米沢市	集落跡	縄文時代	2023年10月13日教社文第432号米沢市教委、「小中沢遺跡」の名称変更	米沢市	米沢東部
	15	大増B遺跡 (202-314)	米沢市	散布地	縄文時代	2023年10月13日教社文第432号米沢市教委、「大増B遺跡」の名称変更	米沢市	米沢
	16	湯ノ花橋c遺跡 (202-380)	米沢市	集落跡	縄文時代	2023年10月13日教社文第432号米沢市教委、「湯ノ花橋c遺跡」の名称変更	米沢市	米沢 入田沢
	17	湯ノ花橋b遺跡 (202-381)	米沢市	集落跡	縄文時代(前期)、 中世	2023年10月13日教社文第432号米沢市教委、「湯ノ花橋b遺跡」の名称変更	米沢市	米沢 入田沢
	18	湯ノ花橋a遺跡 (202-391)	米沢市	集落跡	縄文時代	2023年10月13日教社文第432号米沢市教委、「湯ノ花橋a遺跡」の名称変更	米沢市	米沢 入田沢
	19	横山古墳 (202-549)	米沢市	古墳	古墳時代(前期)	2023年12月22日教社文第550号米沢市教委、「木和田塚群b遺跡」の名称変更	米沢市	米沢東部
	20	戸塚山古墳群森合東支群 (202-657)	米沢市	古墳	古墳時代(終末期)	2023年10月13日教社文第432号米沢市教委、「森合東古墳群」の名称変更	米沢市	鶴野目
	21	戸塚山古墳群森合西支群 (202-662)	米沢市	古墳	古墳時代(終末期)	2023年10月13日教社文第432号米沢市教委、「森合西古墳群」の名称変更	米沢市	鶴野目
	22	戸塚山堤入東塚群 (202-669)	米沢市	塚	中世	2023年10月13日教社文第432号米沢市教委、「萩の森塚群」の名称変更	米沢市	鶴野目
	23	戸塚山古墳群山頂支群 (202-673)	米沢市	古墳	古墳時代(中・後期)	2023年10月13日教社文第432号米沢市教委、「山頂古墳群」の名称変更	米沢市	鶴野目
	24	戸塚山古墳群飯塚南支群 (202-677)	米沢市	古墳	古墳時代(終末期)	2023年10月13日教社文第432号米沢市教委、「飯塚南古墳群」の名称変更	米沢市	鶴野目
	25	戸塚山古墳群堤入C支群 (202-680)	米沢市	古墳	古墳時代(終末期)	2023年10月13日教社文第432号米沢市教委、「堤入細石塚a遺跡」の名称変更	米沢市	鶴野目

Ⅲ 遺跡の登録、修正と訂正、登録抹消

区分	No.	遺跡名 (番号)	所在地	種別	時期	通知文書他	届出者	地図名
位置訂正	26	大塚遺跡 (382-055)	川西町		中世	2023年10月18日博文第915号山形県	山形県	羽前小松
	27	治兵衛館跡 (382-105)	川西町	城館跡	中世	2023年10月18日博文第915号山形県	山形県	羽前小松
	28	大塚城跡 (382-175)	川西町	城館跡	中世	2023年10月18日博文第915号山形県	山形県	羽前小松
	29	戸塚山古墳群堤入C支群 (202-680)	米沢市	古墳	古墳時代(終末期)	2023年10月13日教社文第432号米沢市教委	米沢市	鶴野目
	30	高屋橋跡 (206-072)	寒河江市	城館跡	中世	2023年10月23日生学第333号寒河江市教委	寒河江市	寒河江
登録抹消	31	戸塚山北古墳 (202-014)	米沢市	古墳	古墳時代(前期)	2023年10月13日教社文第432号米沢市教委(戸塚山堤入北塚群に統合)	米沢市	鶴野目
	32	堤入礪石塚b遺跡 (202-675)	米沢市	古墳	古墳時代(前期)	2023年10月13日教社文第432号米沢市教委(戸塚山堤入東塚群に統合)	米沢市	鶴野目
新規登録	33	武道作山館跡 (213-284)	南陽市	城館跡	中世	2023年4月24日南教社第88号南陽市教委	南陽市	赤湯 羽前小松
	34	池黒館山館跡 (213-285)	南陽市	城館跡	中世	2023年4月27日南教社第95号南陽市教委	南陽市	赤湯 羽前小松
	35	戸塚山古墳群小山B支群 (202-693)	米沢市	古墳	古墳時代	2023年10月13日教社文第431号米沢市教委	米沢市	鶴野目
	36	諏訪原2遺跡 (301-077)	山辺町	集落跡	中世	2024年1月18日博文第1186号山形県	山形県	山形北部
	37	百目木遺跡 (324-059)	大江町	その他 (集跡)	近代、近現代	2024年1月26日大教社発第167号大江町教委	大江町	左沢



1、28 大塚城跡 26 大塚遺跡、27 治兵衛館跡



2 高松橋跡



3 戸塚山堤入西塚群、22 戸塚山堤入東塚群



4 戸塚山古墳群飯塚北支群、24 戸塚山古墳群飯塚南支群



5 戸塚山古墳群堤入B支群、6 戸塚山古墳群堤入A支群



7 戸塚山堤入北塚群



8 戸塚山古墳群金ヶ崎支群



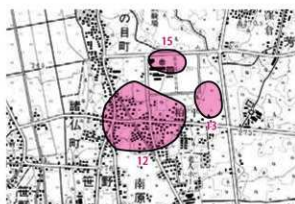
9 戸塚山古墳群山崎支群



10 戸塚山古墳群小山A支群



11 三合免館跡



12 大壇A遺跡、13 大壇C遺跡、15 大壇B遺跡



14 小中沢遺跡



16 湯/花橋c遺跡、17 湯/花橋b遺跡、18 湯/花橋a遺跡



19 横山古墳



20 戸塚山古墳群森合東支群、21 戸塚山古墳群森合西支群



23 戸塚山古墳群山顶支群



25・29 戸塚山古墳群堤入C支群



30 高屋橋跡



33 武道作山館跡、34 池黒館山館跡



35 戸塚山古墳群小山B支群



36 諏訪原2遺跡



37 百目木遺跡

掲載遺跡位置図使用図幅一覧（2万5千分の1）

No.	遺跡名	地図名
1	谷柏古墳群	山形南部
2	森合道跡	上山
3	白山堂道跡	天童
4	板橋2道跡	寒河江
5	大楯秋山地区道跡可能性地1・2	谷地
6	白金道跡	楯岡
7	後久保道跡	谷地
8	農地整備事業（機橋開通）沢原地区	向町
9	農地整備事業（機橋開通）立小路エボシカケ地区	羽前赤倉、向井町
10	上野道跡	大沢
11	作の巻地区	古口
12	梅津館跡、大林道跡、朽谷館跡、菅原館跡、土白館跡、大津賀館跡、 根岸館跡、原前屋敷跡、八幡一遺跡	羽前小松
13	青木館跡、大坊道跡、津右衛門屋敷跡、大坊屋敷跡、四谷道跡、伊藤伝屋敷跡、畑中館跡、 岡崎御殿跡、高山島貫屋敷跡、黒川道跡、大河原屋敷跡	羽前小松、来沢北部
14	天王道跡	羽前小松
15	成田地区道跡可能性地1	長井
16	大屋敷跡、草岡館跡	長井
17	白川道跡	叶水、岩倉
18	水利施設等保全高度化事業（集積促進型）中平田南第一地区	余目
19	蚕桑道跡、大沢道跡、東部道跡	吹浦
20	二反割道跡	羽前金山
21	当山地区（2期地区）道跡可能性地1	吹浦
22	井岡道跡	鶴岡
23	井岡地区道跡可能性地	鶴岡
24	唐越道跡	赤湯
25	沢口榎跡	貫見
26	鶴ヶ岡城跡	鶴岡
27	諏訪前道跡	赤湯
28	都市計画道路事業山元蔵増線	寒河江
29	北向道跡	山形北部
30	日和田道跡	寒河江
31	米沢川西バイパス道跡可能性地	来沢北部
32	山辺工区道跡可能性地1・2・3・4・5・8（瀬防原2道跡）	山形北部
33	野瀬道跡	吹浦
34	小白川工区	手ノ子
35	大谷工区道跡可能性地4	左沢
36	成生工区道跡可能性地3・4	寒河江
37	別当屋敷道跡	古口
38	道路改築事業（地債）一般県道仁田山平岡線道路改良工事	羽前金山
39	須川河川整備補助事業築堤工	山形南部
40	小鶴沢川河川整備補助事業	山形北部
41	田沢川河川整備単独事業（河川自然災害）護岸工	左沢
42	羽黒川河川整備補助事業護岸工、築堤工	来沢北部

掲載遺跡位置図使用図幅一覧(2万5千分の1)

No.	遺跡名	地図名
43	和田川河川整備補助事業護岸工、築堤工	赤湯
44	若木館跡	山形北部
45	京塚館跡	羽根沢温泉
46	藏機川(矢ノ沢)大規模特定砂防等事業(通常砂防)砂防えん堤	羽前中山
47	世野山館跡	米沢
48	郭所A遺跡	赤湯
49	板沢遺跡	長井、羽前小松
50	入沢地域防災力強化型土砂災害対策事業(防災安全・通常砂防)砂防えん堤工	上山
51	山形県立上山高等養護学校・山形盲学校改築整備事業	上山
52	明沢川発源地所遺跡可能性地	小国東部
53	村木沢駐在所予定地	山形北部
54	最上川上流大規模関連災害事業(左沢築堤)	左沢
55	最上川上流溝延地区管理用道路整備工事	谷地
56	最上川上流 荒砥地区外河道掘削工事(荒砥地区)	荒砥
57	最上川上流 荒砥地区外河道掘削工事(長井地区)	長井
58	最上川上流 西大塚(上流・下流)地区 河道掘削工事	羽前小松
59	最上川上流 梨郷地区河道掘削工事	羽前小松
60	最上川上流 村山地区河道整正等工事	寒河江
61	松下屋敷跡	山形北部
62	一般国道13号金山道路遺跡可能性地1	羽前金山
63	一般国道13号真室川雄勝道路遺跡可能性地1	及位
64	一般国道113号小国道路遺跡可能性地1・11	小国
65	一般国道47号高屋防災事業遺跡可能性地1・2	古口
66	国道13号津久茂橋架替	赤湯
67	国道48号山形48号交通安全対策(山口歩道整備)	天童
68	物見峠B遺跡、林之内遺跡	吹浦
69	一般国道7号遊佐象海道路遺跡可能性地1	吹浦
70	最上川直轄河川大規模災害関連事業地(最上川中流)遺跡可能性地	海谷
71	中村館跡	大井沢
72	小出沢第1砂防堰堤	清川
73	小出沢第2砂防堰堤	清川
74	松沢川第2砂防堰堤	五味沢
75	長沢遺跡	五味沢
76	山形幹線線路延長工事	—
77	山形城三の丸跡	山形南部
範囲修正	大塚城跡	羽前小松
	高松橋跡	寒河江
名称変更	戸塚山堤人西塚群	雄野目
	戸塚山古墳群飯塚北支群	雄野目
	戸塚山古墳群堤人B支群	雄野目
	戸塚山古墳群堤人A支群	雄野目
	戸塚山堤人北塚群	雄野目
	戸塚山古墳群金ヶ崎支群	雄野目

掲載遺跡位置図使用図幅一覧（2万5千分の1）

No.	遺跡名	地図名
名称変更	戸塚山古墳群山崎支群	糠野目
	戸塚山古墳群小山A支群	糠野目
	三合免館跡	糠野目
名称変更	大塚A遺跡	米沢
	大塚C遺跡	米沢
	小中沢遺跡	米沢東部
	大塚B遺跡	米沢
	湯ノ花橋c遺跡	米沢、入田沢
	湯ノ花橋b遺跡	米沢、入田沢
	湯ノ花橋a遺跡	米沢、入田沢
	戸塚山古墳群森合東支群	糠野目
	戸塚山古墳群森合西支群	糠野目
	戸塚山堤入東塚群	糠野目
	戸塚山古墳群山頂支群	糠野目
	戸塚山古墳群飯塚南支群	糠野目
	戸塚山古墳群堤入C支群	糠野目
	横山古墳	米沢東部
位置訂正	大塚遺跡	羽前小松
	治兵衛館跡	羽前小松
	大塚城跡	羽前小松
	戸塚山古墳群堤入C支群	糠野目
	高屋橋跡	寒河江
登録抹消	戸塚山北古墳	糠野目
	堤入畑石塚b遺跡	糠野目
新規登録	武通作山館跡	赤湯、羽前小松
	池黒館山館跡	赤湯、羽前小松
	戸塚山古墳群小山B支群	糠野目
	諏訪原2遺跡	山形北部
	百日本遺跡	左沢

報告書抄録

ふりがな	ぶんぽうようさほうこくしよ 51							
書名	分布調査報告書 (51)							
副書名								
シリーズ名	山形県埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第 230 集							
編著者名	竹田純子 稲村圭一 岩崎恒平							
編集機関	山形県観光文化スポーツ部							
所在地	〒 990-8570 山形県山形市松波二丁目 8 番 1 号 TEL 023-630-2879							
発行年月日	2025 年 3 月 31 日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	発掘期間	発掘面積 ㎡	発掘原因
山形県 東村山郡 山辺町 山辺 諏訪原 2 遺跡	山形県 東村山郡 山辺町 山辺	6301	301-077	38° 17' 47"	140° 15' 30"	20231205 20231212 20231219 20231227 20240109	74.02	試掘調査
山形県 東根市 羽入 東原遺跡	山形県 東根市 羽入	6211	211-089	38° 24' 07"	140° 21' 39"	20240321	45.00	試掘調査
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項		
諏訪原 2 遺跡	集落跡	中世		溝状遺構 土坑 柱穴	中世陶器	(出土品箱数：1 箱)		
東原遺跡	集落跡	平安時代		竪穴建物跡 土坑	土師器片 須恵器片	(出土品箱数：1 箱)		
要 約	諏訪原 2 遺跡	遺跡可能性地 1・2・3・4・5・8 にトレンチを設定して調査を行った結果、遺跡可能性地 1・2・3・5・8 において溝状遺構、土坑、柱穴などの遺構を確認した。遺構・遺物が確認された範囲を「諏訪原 2 遺跡」として新規登録した。						
	東原遺跡	事業地のうち、遺跡可能性地 3 内に 4 箇所、遺跡可能性地 4 内に 4 箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、遺跡可能性地 4 のトレンチ 1～4 において遺構や遺物包含層を確認した。西側に隣接する東原遺跡が東側に続いているものと判断された。						

山形県埋蔵文化財調査報告書第230集

分布調査報告書(51)

令和7年3月31日 発行

発行 山形県観光文化スポーツ部

印刷 中央印刷株式会社

